

中部大学幸友会 会報2015

幸友

特集

スペシャル座談会

新卒採用の 実態とホンネ

～就職活動時期の変更に、私たちは何を指すべきか～

ふらっと美術館めぐり

中山道広重美術館

おとなの健康塾

健康づくりの土台は
“人と人のつながり”である

VOL.18

2015年4月、 「不言実行館 ACTIVE PLAZA」竣工



フロアガイド

- 6F ハワイアンレストラン
「ALOHA TABLE」
- 5F キャリア支援課、
クリエイティブ・ラボ
- 4F 教務支援課、学生支援課
- 3F ラーニング・commons
- 2F スチューデント・commons
- 1F アクティブホール

開学50周年事業の一つとして、かねてより建設中の新施設「不言実行館 ACTIVE PLAZA」が、今春、無事完成いたしました。ご寄付をいただきました幸友会会員の皆様には、心より感謝申し上げます。

同施設は、鉄筋コンクリート造り6階建てで、延床面積は約5,600平方メートル。建学の精神が建物の名に付けられたよ

うに、学生が建学の精神を大切にして、自学力(自ら学ぶ力)と人間力(自ら考え生きる力)を備えた「あてになる人間」として、社会で活躍するための活動の場となることを願ってつくられました。6階のハワイアンレストラン「ALOHA TABLE」からは名古屋市街や濃尾平野の眺望をお楽しみいただけます。大学へお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。

キャリア支援課 (クリエイティブ・ラボ)



学生向けの企業説明会や講演会の場としてご利用いただけます。

スチューデント・commons



幸友会寄贈の電子書籍がインストールされたパソコンを完備し、学生に貸し出しています。

ハワイアンレストラン 「ALOHA TABLE」



全国の大学で中部大学が初出店。学内でリゾートにいるような雰囲気味わえます。

- 01 ニュース
CAMPUS NEWS
- 02 メッセージ
ごあいさつ
- 03 特集 スペシャル座談会
新卒採用の実態とホンネ
～就職活動時期の変更に、私たちは何を指すべきか～
旭サナック株式会社 取締役総務部長 宮田 弘氏
株式会社生方製作所 マネジメントセンター副センター長 野村 拓喜氏
木野瀬印刷株式会社 代表取締役、中部大学幸友会 常任理事 木野瀬 吉孝氏
株式会社ツリストアイチ 代表取締役 岡部 清次郎氏
中部大学 キャリア支援課次長 市原 幸造氏
- 11 インタビュー
企業人の格言
オオサキメディカル株式会社 代表取締役社長 大崎 将男氏
本多電子株式会社 代表取締役社長 本多 洋介氏
- 13 ふらっと美術館めぐり
中山道広重美術館
- 15 講演報告
企業経営講演会
中部大学 客員教授、毎日新聞社 客員編集委員 西川 恵氏
特定非営利活動法人ヒーローズ 会長 林 敏之氏
- 17 暮らしのエッセイ
朝のにおいについて
フリーライター 岡本 信也
- 19 シーズ紹介
研究室訪問
応用生物学部 応用生物化学科 教授 塚本 義別
人文学部 コミュニケーション学科 教授 三摩 真己
総合工学研究所長 分子性触媒研究センター長 山本 尚
生命健康科学部 保健看護学科 教授 城 憲秀
- 23 おとなの健康塾
健康づくりの土台は“人と人のつながり”である
中部大学 生命健康科学部 スポーツ保健医療学科 准教授 藤丸 郁代
- 25 本棚から社会を見る
真の食育について今一度考える。
中部大学 次世代食育研究センター長 横山 信治
- 28 会員企業紹介
幸友会会員企業を訪ねて
株式会社杉本組 杉本 好隆さん
株式会社両口屋是清 丹羽 俊介さん
小島プレス工業株式会社 土川 久典さん
- 31 幸遊見聞記
虎溪山 永保寺
- 33 就職レポート2015
次の時代を担っていく人材を
安定的に確保するためには。
- 35 総会報告
第27期中部大学幸友会総会報告
- 37 総会講演ダイジェスト
「第三次安倍政権の課題」
エコノミスト、株式会社日本総合研究所 理事長 高橋 進氏
- 39 イベントレポート
中部大学フェア2015
- 42 TOPICS
世界初、500メートルの超伝導送電に成功。
同済日本センター、技術と人材の交流を支援。
- 43 寄稿
メンバーズサロン
- 45 お知らせ
イベントのご案内 & 施設利用のご案内

ごあいさつ

新しい時代を見据え、 質重視の大学づくりへ 転換していく。

中部大学幸友会 名誉会長

学校法人中部大学 理事長・総長 いいよし あつお
飯吉 厚夫



幸友会会員の皆様には、日頃より大変なご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
昨年度は大学開学50周年にあたり、さまざまな記念事業を執り行いました。なかでも、4月に竣工した「不言実行館ACTIVE PLAZA」は、学生たちが人間力を身に付け、主体性を持って学ぶ場として活用しています。建設に伴い、幸友会会員の皆様には多くの御厚志を賜りましたこと、心より御礼申し上げます。

日本は少子高齢社会に突入し、18歳人口が減少する厳しい時代となりました。中部大学は、これまで成長路線を歩んできましたが、持続可能な路線へと舵を切り、質を重視した大学づくりへ転換していきたいと考えております。近年、本学は国が推進する先端プロジェクトに採択されることが多くなってまいりました。科学研究費補助金についても、中部圏の私立大学の中でトップクラスの交付を受けています。また、地域連携事業拠点として、地元・春日井市と連携し、地域再生・地域活性化にも取り組んでいるところです。今後とも皆様の変わらぬご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

大学の知財を活かした 産官学連携により、 中部経済を盛り上げる。

中部大学幸友会 会長

春日井商工会議所会頭 まつお たかのり
松尾 隆徳



中部大学幸友会は、会員の皆様のお陰で各方面にわたり充実した会になって参りました。会員企業様には卒業生の採用をはじめ、活躍の場をご提供いただいております。卒業生がそこで一生懸命働くことが、この中部地域ひいては日本経済の発展の一翼を担うことにつながると考えています。幸いにも景気回復を受けて、世の中が明るくなってきました。また、これからは地方の時代とも言われています。この追い風に乗って、皆様が自らの力で前に進むだけでなく、7学部を擁する大学の知財を積極的に活用する産官学連携により、中部地域をさらに元気にしていただきたいと思います。

建学の精神「不言実行」の思いを込め、新しい教育を目指して竣工した「不言実行館ACTIVE PLAZA」におきましては、寄付金という形で、多くのご協力・ご支援をいただきました。これも皆様の中部大学を愛する温かいご支援の賜物と喜んでおります。今後も幸友会と致しましては会員の皆様方のお力をいただきながら、地方の時代の名の下、この中部地域で頑張りたいと思いますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。

特集

スペシャル座談会

新卒採用の実態とホンネ

～就職活動時期の変更に、私たちは何を指すべきか～

「就職戦線、異常あり」。そんな言葉が飛び交う今年の採用活動。

経団連の新たな「採用選考に関する指針」に対して、早くも見直しの声があがっているほどです。

今回は、幸友会会員企業の経営者と人事担当、そして中部大学のキャリア支援課スタッフを迎えて、

人材確保における実態と課題、方策等について話し合いました。



市原 幸造氏

中部大学
キャリア支援課
次長

野村 拓喜氏

株式会社生方製作所
マネジメントセンター
副センター長

〈司会〉

木野瀬 吉孝氏

木野瀬印刷株式会社
代表取締役
中部大学幸友会常任理事

岡部 清次郎氏

株式会社ツーリストアイチ
代表取締役

宮田 弘氏

旭サナック株式会社
取締役総務部長

Chapter 1

時期の変更から
企業と大学が
感じていること

木野瀬 今年の就職活動は、スケジュールの変更に伴い一変しました。新聞紙上でも企業や学生の混乱や戸惑いの声を掲載する記事が多く見られます。そうした中、各企業なりの悩みもあると思いますが、まずは皆さんへの影響についてお聞きしたいと思います。

宮田 我々人事担当者も混乱しているのが実情です。去年までは12月に会社説明会を開催し、選考後4、5月に内定を出すという一連の流れがありました。学生もまずは大手企業、その次に中堅・中小企業を受けていましたが、今年は一斉に3月スタート。当社としては新入社員の受け入れ準備と重なったため、手分けして対応するなどの苦労はありました。

野村 会社説明会の開始時期が12

月から3月に変わること、応募者が減少する不安がありました。実際に去年の文系学生の受験社数は30〜40社だったのが、今年は15社程度。時期が集中したことで応募が減りました。そこで、3月の時点で学生に当社を選んでもらうにはどうすればよいかを一番に考えて行ったのが大学訪問です。3月に会社説明会を行ったときに、大手と重なり参加学生がゼロだったら…という不安から、まずは学生に会社を知ってもらい参加してもらうために、12〜2月に大学へ足を運びました。

岡部 当社は旅行業で人気業種ということもあり、例年、会社説明会では多くの学生が集まります。スケジュールが変更されても今年はやや少ないかなと思ったくらいです。しかし、二次面接まで進んだ学生から辞退者が出ました。去年までは、大手の選考が始まった5月頃に内定の辞退が出ることはありましたが、例年通りとはいかずまさに異常事態です。はつきり言って甘く見ていません。今も、8月に内定を出した学生から、「回答を9月いっぱい待ってくだ

さい」と言われています。

木野瀬 内定辞退という切実な話が出ましたが、生方製作所さんでは学生の動きはどうですか。

野村 内定を出し終えた後、先輩社員と会ってもらったり、会社の雰囲気を知ってもらう機会を設けたりしたことで、理系学生の辞退者は出ていません。ただ9月に入ってから文系学生で2名の辞退がありました。大手の内定を得たからという理由です。

木野瀬 2名という数字は例年に比べていかがですか。

野村 多いです。例年、当社では効力はありませんが、内定の受諾書をいただくと同時に、ほかに受けている会社の状況を聞いています。それを提出してくれた学生はほぼ100%入社を決めてくれましたが、その点で今年は去年と違います。

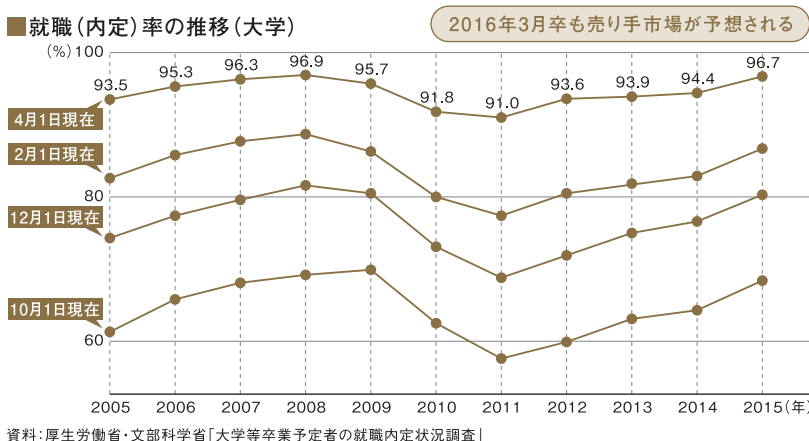
木野瀬 旭サナツクさんはどうですか。

宮田 当社は機械メーカーです。で、例年理系学生を中心に採用していますが、今年が集まりが少なかったですね。最終的には文系を含めて9名の大卒予定者に内定を出しましたが、内2名からは誓約書を出し

た上で、もう少し考えさせてほしい、大手の最終選考の結果を見てから決めたという話がありました。

木野瀬 状況は日々刻々と変わっているようですが、中部大学としてはいかがでしょうか。

市原 内定率で言えば、昨年の同時期と比べて15ポイントほど遅れています。開始が遅かったので想定内ですが、そうは言っても約半分が決まっ



学業への専念を目指したはずが 学生にとっては逆効果に。

おかべ せいじろう
岡部 清次郎氏

株式会社ツーリストアイチ 代表取締役

[幸友会会員企業]

株式会社 ツーリストアイチ

JTBの総合提携店として、地域に密着した販売ネットワークとサービスを提供。“夢実現企業”夢(旅)をお売りいたします!をスローガンに、1枚の切符から海外旅行まで旅行全般の情報発信基地を目指し、「国際化社会」・「情報化社会」に対応できるように社員教育に力を入れている。



たという見方ができるということでしょうか。

市原 そうですね。この変更が数年前なら、もつと違う動きだったかもしれません。今年は、3月の求人票の公開と同時に説明会の日程が決まり、待ち切れずなし崩的に選考に入ってしまった企業がありました。

岡部 私は少子化と大企業の景気の良さの両方だと感じています。我々の旅行業界ではやや減少はありましたが、我が社に関しては、大手の採用活動の影響を受けたことが大きな要因です。元のスケジュールに戻してほしいですね。学生が学業にもつと専念できるようにという趣旨だったはずですが、逆になっていると思います。

市原 学生は、少なくとも3年生の3月までは学業に専念できますし、3年の秋に卒業論文の準備に入りますので、今年は4月の段階で、履歴書に卒業研究について書くことができたという事例はありました。大学の担当者としては、卒論は始まっておらず、学業もクラブ活動も途中の状態で、企業は学生のどこを

見て採否の判断をされるのだろうと戸惑いを感じています。大学生全般に学力の低下が言われるように

なる中、中部大学では、きちんと学生生活を送らせることで、学業だけでなく、クラブ活動などを通じて物事の考え方やコミュニケーション力など、人としての多様な力をつけさせたいと思っています。でもそれが途中で就職活動に移行してしまう。つまり教育のロスが出ていると感じます。そういった声は産業界からも上がっており、学生にはきっちり勉強する時間を与えるべきだ、後ろ倒しの旗を降ろすなどという声もあります。

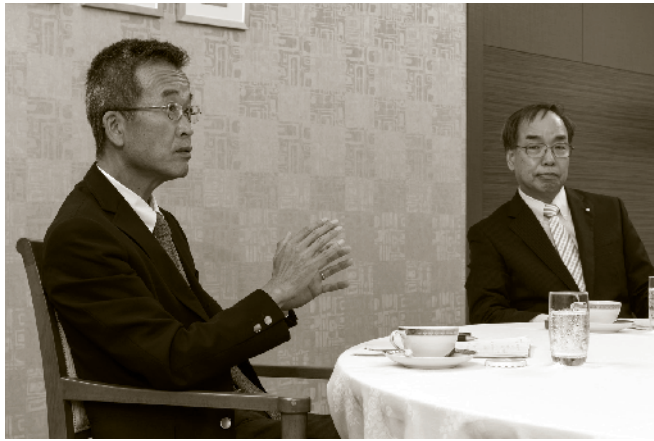
木野瀬 1970年代前半、激しかった青田買いは、1973年、卒業年度(4年生)の5月1日に会社訪問解禁、7月1日に入社試験実施という就職協定が制定され、改善されたように思います。しかし、その後また青田買いに戻ってしまいました。今年でいえば、経団連もよしとして始まりました。確かに問題点はありませんが、これを来年また見直すべきなのではないでしょうか。自分たちの会社の都合

ており、ルールは守られずに始まったという印象です。ルール変更の趣旨について、企業も大学も本当に理解しているのかどうかは心もとない部分があります。少なくとも時期の後ろ倒しは大学側からのお願いでした。でも大学の力では企業の動きも学生の動きも止められなかったのが実態です。今回、企業の皆さんが苦労されている一番大きな理由が、実は売り手市場ということ。今年

は時期の変更はあれど、企業の求人意欲や求人手続き状況を見ると、過去を振り返ってみても超売り手市場と言えます。学生の内定辞退で迷惑を掛けている状況もあります。本来の狙いとは違い、非常に長い期間で受験した企業から順次内定が出る形になっており、企業としては結果的に長く学生をつないでおかなければなりません。それとあわせて売り手市場であることが内定辞退の要因の一つだと思えます。

木野瀬 するとスケジュール変更で混乱を来たしているというよりも、売り手市場にたまたま変更が重なっ

たという見方ができるということでしょうか。



ではなく、3年生まで学生生活が充実していることがプラスに働くなら、時期の変更は学生にとってはよいと思います。

宮田 学生には就職に対する意識の差を感じます。1年次から意識の高い人もいれば、周りの情報に流されて、友だちが行くから行ってみるという学生もいます。しっかりと考えたうえでなければ、会社に入って一体何をしたいのかはストレートに伝わってきません。意識の高い学生とそうでない学生の間で格差はありますね。

木野瀬 学生の意識の問題が出ましたが、野村さんから見て学生に足りないもの、あるいは大学に期待すること、社会人の意識について思うことはありますか。

野村 最近では、受け身の姿勢の若者が多いと感じています。学生の間は授業料を払って勉強を教えてもらっているたかもしれませんが、入社してからも受け身の姿勢が見られます。もちろんある程度の教育はしますが、その後は興味を持って、もっと知りたいと思ったら自分で調べ、聞き、情報を取りに行く。そういう部分の弱さは感じます。興味を持つことをやめてしまえば成長も止まってしまいます。人間力養成のためにも、いろいろなことにチャレンジしてほしいですね。

木野瀬 そういった教育は1年次からできます。特に山下興亜学長が、建学の精神「あてになる人間」の育成について繰り返し口にされているように、初年次から行う必要があると思いますね。

岡部 我が国の企業数の99.7%が中小企業で、雇用の約7割を支えているわけです。ただ、中小企業のア

ピール度が弱く、人気は大企業へ流れてしまいます。我々も中小企業の良さをアピールする努力はするけれど、もっと大学にもそれを学生へ伝えてほしいという思いもありますね。

市原 職業の方向感覚を持って一定の期間内に決めるためにも、いわゆる職業教育は低学年のうちからすべきだと思います。本学は積極的に取り組んでいます。キャリア支援課でも文系学部との2年生向けのキャリア形成支援プログラムを用意したことで、これらの学部の内定率がアップしたという

成果も表れており、低学年から職業的な方向感覚を養うことは絶対に必要です。そういう意味ではインターンシップも非常に重要で、今は3年生の夏休みに行っていますが、報酬型インターンシップなど、場合によっては低学年まで広げていくことも重要だと考えています。

野村 当社は今年、初めてインターンシップを受け入れました。その大きな理由は、会社を学生に知ってもらうためです。2月に行いましたが、参加した学生は意識も高く、3月の

自社の魅力を伝えるために 先生方への情報発信を重視。

のむら ひろき
野村 拓喜氏

株式会社生方製作所 マネジメントセンター副センター長

【幸友会会員企業】

株式会社 生方製作所

世界トップクラスの温度・電流・振動センサー&スイッチメーカー。安全をカタチにするテクノロジーを追求し、インターナルモータープロテクター、感震器などを自社ブランドで販売する自主独立型の経営姿勢を貫く。技術力の証となる特許出願数は、海外出願も含め1100件を超える。



会社説明会にも来てくれました。

木野瀬 我々も学生に企業を知ってもらう努力が必要ですね。

Chapter 2 よりよい内定のため 企業と学生が 取るべき行動とは

木野瀬 ここで少し観点を変えて内定についてお聞きしたいと思えます。売り手市場になると、誓約書も有名無実になり、内定辞退者が出ます。我が社では内定を出すとき、「選ぶのは君たちです。内定を得た人は、我が社に入社する権利を勝ち得た。だから心が決まるまで誓約書は出さなくてもいい」と言っただけで誓約書を渡します。するとその間、いろんな企業を見て回りますが、結果的にほとんどが学生が来てくれます。いま、オワハラや囲い込みをするという風潮がありますが、我々中小企業はもっと学生の立場で考える必要があると思えますがいかがですか。

岡部 どうしても採用枠が少ないため、我々は一人あたりのウェイトを上げざるを得ません。いいと思う学生にはやはり入社してほしいし、このままだと一層囲い込もうとしてしまうのではないのでしょうか。

市原 私は、インターネットの登場で大学と企業との間に距離ができてしまったと感じています。就活サイトの登場と不況期が重なったことで、大学へ足を運んでくださる企業が激減しました。かつては応接室前に企業の方の列ができるという時期があったほどです。それくらい自社を知ってもらうための情報発信、あるいはどの先の学生がどんな特徴があるかということを企業が熱心に研究されていたと思います。ネットでたくさん情報が出ていますが、やはり最終的には「この会社はいい」という先生から学生へのサジェスチョンが大きく左右するはずですね。そういうことが非常に薄れてきています。大学と企業とがもっとコミュニケーションを図り、インターシップなどを通じてお互いに成長し合い、そのまま採用していただくくらいの関係を企業と築ければ、大

大学と企業の良い関係が、 人材確保につながっていく。

みやた ひろし
宮田 弘氏

旭サナック株式会社 取締役総務部長

【幸友会会員企業】

旭サナック 株式会社

「塗装・圧造・洗浄」の特殊な事業分野で独自の技術領域を有し、自社ブランド製品を開発からアフターサービスまで一貫して行う、塗装機械・圧造機械のトップクラスメーカー。ニッチな分野であるが、強力な研究開発体制によりユーザーに最適な生産システムを提供している。



学としてはありがたいことです。「夏休み頃から始めても就職は決まる。だから4年の夏まで学業と課外活動に集中しなさい」と、学生に充実した学生生活を過ごさせて、選考開始とともにお付き合いのある優良企業を学生に提示して、1、2社受けて決まる。理想論かもしれませんが、学生のレベルを上げて、どこの企業も欲しい人材を目指せばいいわけです。

木野瀬 とても理想的である一方、中部大学にとっては現実的でもあると思います。それは企業と大学がとも近い存在になりえている幸友会があるからです。今後は、企業も幸友会を活用して大学にもっと接近して、先生方から学生へ、「こういういい会社がある。卒業生もこれだけ社会で活躍している」という絵が描けたら、学生たちも心にゆとりを持って就活できるし、そこを目指して一生懸命頑張れる。その一部を我々幸友会会員企業が担えればよいのではないのでしょうか。

宮田 大学と企業、あるいは大学の先生と会社の人事や研究開発担当

生涯の仕事に出会える アドバンテージを持たせたい。



いちほら こうぞう
市原 幸造氏
中部大学 キャリア支援課次長

者が、もっと有機的にコミュニケーションをとる必要があります。大学の先生にも企業を知っていただき、先生が企業の情報を持つことで、学生へアドバイスができるはずです。また、ネット社会で情報はたくさんあるけれど、実際に現地へ行かないとわからない部分もあります。ですから我々中小企業もいかに内容を見てもらうかを考えなくてはなりません。実は学生も敏感で、工場を案内すると、この会社は整理整頓がしっかりしている、挨拶をしてくれる、社員教育がしっかりしているなど、そういう雰囲気

から会社を評価しています。最終的には自分の目で、自分の感覚で選んでいるのかもしれませんが。

木野瀬 そうですね。買い手市場であろうと学生は常に選ぶべきです。一度や二度ではなく、何度も行って本質を見抜くくらいの目を養わないといけません。

宮田 われわれ人事担当も、学生が何度も足を運んできたり、電話をかけてきてくれたりすると情が生まれます。同じように、大学の先生から「こういう学生がいるのだけれどどうだろうか」と直接話をいただける

関係をつくってあげば、次年度のいい人材確保につながることもある。それも交流の一つです。

木野瀬 学生に知ってもらう以上に、先生方にも我々企業を知っていただく必要がありますね。

野村 まさにそれを12〜2月の間に当社は行ってきまし

た。就活サイトは学生を集めるツールの一つにすぎず、どうしても一方的な情報発信になってしまいます。そのため、当社に魅力を感じて学生に来てもらうには、先生にもファンになってもらいたいという思いがありました。そこでキャリア支援課にお願いして就職担当の先生、また当社は中部大学のOBが多数おりますので、OBと一緒に先生に挨拶に行きました。先生も教え子の活躍を喜んでくださいます。そういう関係が築けたのは今年の我が社の活動の成果です。

木野瀬 そういう事例によって良い効果が生まれたことをいろんな企業が真似すればいいと思います。もっと人とのつながりを大事にする気風が生まれれば、こういう後援組織はとも役に立つと思います。

岡部 一つ懸念があるのは、初任給の引き上げなどを大幅におこなう大手企業が表れたことです。中小企業にはついていきません。そういったことに対抗するためにも、もっと我々も先生方に自社をアピールして、コミュニケーションをとっていく必要があるかもしれません。もっと就職懇談会



を開いたり、できるだけ接点をついたり、より先生方と話す機会を設けていただけるといいですね。

木野瀬 これまでの話をまとめると、就職が学生にとっては人生の節目であるのに、それを「就活」という言葉で行事化してしまっているように思います。どううまく乗り切るかを学生が考え、大学も考え、企業も考えている。でも、人(学生)が一生を決めるとても大事な時期であるから、我々は内定の出し方一つにしても、もう少し学生目線で考える必要が



ます。また、中小企業では頑張れば出世が早いということがあげられます。ただ逆に有名大学出身だから出世できるという保証はありません。また、今は大手でも創業当時は従業員が数人だった企業だつてあるわけです。中には本人次第で学ぶべきことが多いと言えます。いろんな企業の社長との交流や異業種交流もあり、社長と話す機会が多くあります。中小だからこそのいろいろな経験ができるという点はあるでしょう。そういった魅力をレクチャーできる場があれば、ぜひお願いしたいと思いますね。

木野瀬 ありがとうございます。先ほど市原さんが言われましたが、大学が行うキャリア教育に対して、我々がサポートできることもあるはずですが、また、宮田さんの話のように、不言実行館を実験道場として活用する。生のキャリア教育を我々の手で行う。学生のサークル活動が企業と結び付くこともあるかもしれませんが。野村さんからは終身雇用の話がありました。我々中小企業は一生関わり合うつもりで学生を受け入れています。また、岡部さんが言わ

れたように、大企業にはないメリットが中小企業にはあります。どんな就職戦線になろうとも、時期の問題ではなく、我々企業が自信を持ってしっかりしていれば必ず学生は選ぶ、そういう気概を持って採用活動をしていきたいと思えます。本日はありがとうございました。

■企業が学生へ求めること&伝えたいこと ※中部大学・学内企業説明会でのヒアリングより

- 「これから訪れる時代を見据えた就職先の検討も大切」(建設コンサルタント)
- 「お互いを知るために、知りたいことは素直に質問してほしい」(インテリア)
- 「就職活動で大切なのは、本音と強気と自分の意思です」(機械設計)
- 「何ができるかよりも、何がしたいのかで就職活動を」(建材・エクステリア)
- 「自分のモノサシで感じたことを大切に企業選びを」(建設業)
- 「企業と学生が触れ合う機会だからこそ、普段の自分をアピールしてほしい」(ホームセンター)
- 「本当に自分のやりたいことを探し出すための質問してほしい」(食品)
- 「ネットの情報だけでなく、自分の目で確かめて企業研究してほしい」(メーカー)



「努力は人を裏切らない」

未来を予測し、努力して、
目的達成に近づいていく。

努力をしたときとしなかったとき。小学生の頃からスポーツや勉強において、体験から確実に成果に差があることを感じていました。自分は天才肌ではないという自覚もあり、事前準備や基礎を大事にしてきました。そうした日々の積み重ねには目的が重要です。言い換えれば夢や大志と言えるかもしれませんが、これは企業経営も同じ。未来を想像して、目的に対してギャップがあれば、そこを埋めるために努力をします。

これはまだ当社が全国展開していない頃の話です。当時、医療用衛生材料分野において中圏で大きなシェアを占めていました。しかし、将来のメデイカル業界を予測したとき、現行のやり方では、やがて訪れる時代の変化に対応できないという危機感を覚えました。そこで生まれたのが変えなくてはという思い。それは会社を守らなくてはという気持ちではなく、変えたという強い意志でした。経営には、このような内発的モチベーションが不可欠です。人は現状に満足すると努力を怠ってしまい、おのずと

努力しない方向に流されてしまいがちです。だからこそ努力する方向に自らを持っていかねばならないのです。その際、当然リスクはあります。たとえば海外へ進出すべきか否かを決めるとき、進出するリスクとしないリスクの両方を考えます。進出する方を選べば海外特有の様々な問題に直面するリスクがあります。しかし、努力により回避する方法を発見できるかもしれません。一方、進出しない方を選べば、リスクを回避する手段さえ失い、かえってリスクは大きくなります。また、環境変化は努力で止めることもできません。つまり、どちらを選んでもリスクがあるならば、努力によつて回避可能な方を選ぶべきでしょう。迷ったら進む。進むことで、運や縁を引き寄せることもあります。そうしたきっかけづくりも努力の一つではないでしょうか。後天的な努力で運命は変えられるという発想こそが目的を達成する第一歩だと考えています。

努力しない方向に流されてしまいがちです。だからこそ努力する方向に自らを持っていかねばならないのです。その際、当然リスクはあります。たとえば海外へ進出すべきか否かを決めるとき、進出するリスクとしないリスクの両方を考えます。進出する方を選べば海外特有の様々な問題に直面するリスクがあります。しかし、努力により回避する方法を発見できるかもしれません。一方、進出しない方を選べば、リスクを回避する手段さえ失い、かえってリスクは大きくなります。また、環境変化は努力で止めることもできません。つまり、どちらを選んでもリスクがあるならば、努力によつて回避可能な方を選ぶべきでしょう。迷ったら進む。進むことで、運や縁を引き寄せることもあります。そうしたきっかけづくりも努力の一つではないでしょうか。後天的な努力で運命は変えられるという発想こそが目的を達成する第一歩だと考えています。



オオサキメディカル株式会社
代表取締役社長

大崎 将男

大崎 将男(おおさき まさお)氏/昭和46年名古屋生まれ。平成6年慶應義塾大学理工学部管理工学科卒業。同年、ライオン株式会社入社。平成9年同社退社後、大崎衛生材料株式会社(平成17年オオサキメディカル株式会社に社名変更)入社。入社後、慶應義塾大学ビジネススクール入学(平成11年卒業)。平成12年常務取締役就任。平成21年代表取締役社長就任。

Interview

企業のトップが語る人生訓 Vol.9

企業人の格言



「一寸法師の針を持って」

誰にも負けない何かを
見つけることの大切さ。

弊社は、高度成長期の昭和30年代に最後発の魚群探知機メーカーとして誕生しました。創業者であり技術者でもあった私の父、本多敬介が当初から徹底して貫いたのは、他のメーカーを真似ることなくオリジナリティで勝負するという方針です。その結果、大型船舶ではなく小型の漁船をターゲットとした、コンパクトで高性能な魚群探知機でニッチ市場を切り開き、現在まで続く超音波技術の専門企業としての礎を築きました。

そんな父はよく、「一寸法師の針を持って」という言葉を使いました。一寸法師は、身体は小さくても大きな鬼に勝ちました。小さかったからこそ、針の刀を手に鬼の胃袋へ飛び込めたのです。それに例えて、「何かお前にしかできないこと、これだけは絶対負けたくないと思えるものを見つけてなさい」と言われて私は育ちました。会社でも、同じように部下を指導していたようです。中小企業でも鋭い針を持っては大企業と互角に渡り合えるという父の気概をかつこいと感じましたね。

本多電子に入社後、私は働きながら大学で研究を続けました。それが、弊社オリジナルの圧電セラミックスを使った超音波技術につながっています。自社生産のセラミックス振動子を超音波機器に応用する例は他になく、まさに「一寸法師の針」となっています。また、この針の刃で、これからもグローバル市場や新分野へと切り込んでいくために、個人の「一寸法師の針」を大切にする姿勢を経営者自ら示すようにしています。特殊な技術を扱う技術開発

主導型の企業では、創造性の高い右脳型の発想を必要とします。そのため、斬新な発想をする人が活躍できる場づくりや、長所を認めるだけでなく短所も受け入れられる企業風土が欠かせないのです。人は人を育てることはできません。であるなら結果的に人が育つような環境を育てたいものですね。できれば企業だけでなく、一人ひとりの「一寸法師の針」を大切に作る社会であってほしいと願っています。



本多電子株式会社
代表取締役社長

本多洋介

本多洋介(ほんだ ようすけ)氏/昭和31年愛知県生まれ。京都産業大学理学部物理学卒業。昭和56年本多電子株式会社入社。入社後も防衛大学電子材料研究室で圧電セラミックスの開発技術を学び、カリフォルニア大学サンタバーバラ校で画像解析の研究に従事。昭和62年代表取締役社長就任。

高い安全性・機能性を備えた医療用衛生材料の安定供給を続ける「オオサキメディカル」。

超音波の可能性を広げ続ける超音波応用技術の総合メーカー「本多電子」。

ともに海外の市場拡大を視野に入れる経営者として大切にしている言葉とは何でしょうか。

今回もおふたりの企業人にお話を伺いました。

しゅらっど

美術館

めぐり

SCENE
6
中山道広重
美術館

恵那駅前の通りを南下すると間もなく交差する中山道。そのすぐそばに建つのが中山道広

重美術館だ。恵那の中心市街地の活性化事業として美術館が

開館したのは平成13年9月のこと。近年では、地元のみならず東

海圏、さらには海外からの来館者も増えたという。ここで所蔵

されている作品の多くは、美術館の名前にもある歌川広重の浮

世絵版画で、恵那市在住の実業家であった田中春雄氏のコレク

ションによるものが中心だ。田中氏は、中山道沿いに住まいを構

えたことをきっかけに、中山道について調べるうち、広重が描いた

「木曾海道六拾九次之内」の素晴らしさに惹かれ収集を始めた

という。それから30年間にわたって集めた作品数は5000点以

上。それらの作品は全て寄贈され、このほか美術館を応援する

方々からの寄付金で購入した作品などを含め、現在の所蔵総数は1300点を超える。

美術館の一押しは、やはり、保存状態も含め極めて上質な

作品といえる揃物そろいもの「木曾海道六拾九次之内」だ。浮世絵は、絵

師が墨一色の版下絵を描き、それを彫師が版木に彫り込み、さ

らに摺師が顔料を載せて紙に写し取ることで完成する。言わ

ば熟練の技術を持った職人たちの協同制作だ。しかし、同じ図

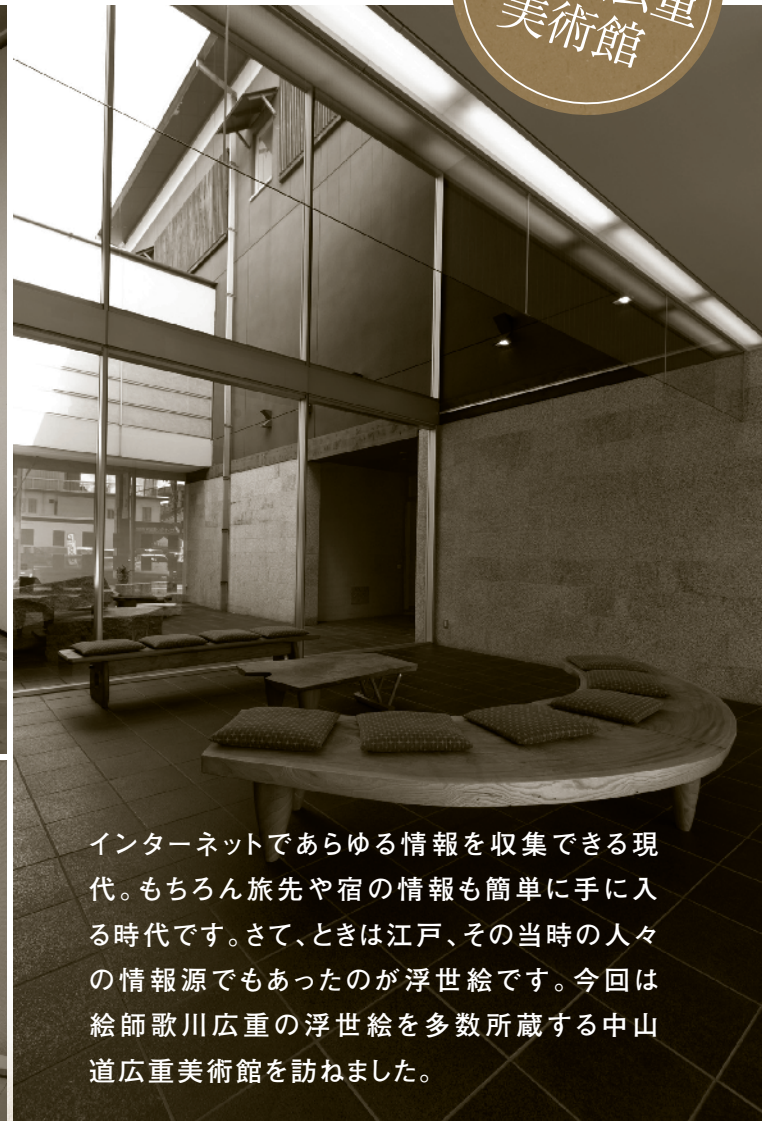
柄でありながらはつきりとした違いを見てとれる作品が存在

する。それは、摺りの違いによるもので、浮世絵は、最初に摺った

200枚前後の版画を「初摺しずり」といい、その後には重版されたものは「後摺あしずり」と

いう。後摺は、版木が摩滅すること

で、線や色にシャープさが失われたり、版を重ねることに色数



インターネットであらゆる情報を収集できる現代。もちろん旅先や宿の情報も簡単に手に入る時代です。さて、ときは江戸、その当時の人々の情報源でもあったのが浮世絵です。今回は絵師歌川広重の浮世絵を多数所蔵する中山道広重美術館を訪ねました。

が減らされたりするため、初摺に近い作品ほど絵師の意向が反映されているといえる。つまり、摺られた時期によって同じ作品でも違いが見られるというのが浮世絵版画の特徴でもあるのだ。中山道広重美術館では、初摺はもちろん、同じ絵の摺り違いを多数所蔵しているため、企画展によってそういった違いを比較しながら見ることもできる。

またこのシリーズには、中山道の69宿に、日本橋を加えた70箇所が描かれているが、そのうち中津川だけは「雨」と「晴れ」の全く異なる図柄が2図存在する。つまり全体では71図で一揃いということになる。しかも、この「雨の中津川」は、世界で現存数が10枚に満たないといわれ、希少価値が高いことはもちろんだが、雨の線が、日本画で用いる胡粉（ごふん）で白く表現されるなど、作品としての素晴らしさも感じることが出来る。ぜひ実物を見てほしい作品だ。さらに、溪斎英泉（けいさいえいせん）と歌川広重、2人の絵師の作品で構成されたこのシリーズでは、美人画を得意とした英泉と、風景の奥行きや空気感を描くことが得

意だった広重の違いにも注目してほしい。それらを見比べるのも楽しい見方の一つだ。

このように、一つの揃物をとっても作品の奥深さに自然と引き込まれていく。ただそこには、浮世絵をいろいろな側面から見たいという中山道広重美術館の強い思いがあるからだ。テーマ設定や展示方法、作品解説などにその思いが表れている。

また、館内2階には体験や映像コーナー、彫りや摺りの道具などが展示されているが、なかでも模擬版木を使った重ね摺り体験コーナーは、老若男女、国籍問わず好評だという。木版画の原理を楽しく学ぶことができるので、訪れた際には一度体験してみたいかがだろうか。江戸の文化、ファッション、土産物、旅の風俗など、庶民のための情報誌としての役割を担い、いまの私たちの暮らしにも通じる内容が描かれている浮世絵。浮世絵を楽しむ上での新たな視点に気付けてくれる中山道広重美術館は、浮世絵初心者はもちろん、浮世絵の世界にもっとハマってみたい方にもおすすめです。



中山道広重美術館

〒509-7201
岐阜県恵那市大井町176-1
TEL.0573-20-0522 (月曜日休館)
<http://hiroshige-ena.jp>

特別企画展

ジュディ・オング倩玉 木版画展
美の架け橋 広重・江戸百景との競演
後期 2015年11月7日(土)～12月6日(日)

企画展

花鳥風月 広重の世界
—四季の移ろいとやまと歳時記—
2015年12月10日(木)～2016年1月17日(日)
四季折々の風景、行事が描かれた浮世絵版画をご紹介します。



歌川広重
(浪花名所図会)
「今宮十日祭びす」



学芸係長 前田 詩織さん

絵を見たときに感動を得られるのが本物の良さです。来年、当館は開館15周年を迎えます。あらためて広重や浮世絵について掘り下げて、いろいろな見方や楽しみ方を発信していきます。



版画体験コーナー。
季節や展示に合わせて図柄を入れ替えています。



企業経営講演会

REPORT

第23回 企業経営講演会

2014年11月26日(水)開催



演題

おもてなし外交 和食が変える首相官邸の外交戦術

講師

にしかわ めぐみ
西川 恵氏 中部大学 客員教授 毎日新聞社 客員編集委員



毎日新聞の金曜日朝刊に、国際政治・外交・文化についてのコラム「金言」を毎週執筆している西川氏。講演では、フランスの大統領官邸エリゼ宮から日本の首相官邸における饗宴まで、宴席の舞台裏についてお話いただきました。なかでも興味深いのは、相手国の首脳を格付けするエリゼ宮によるおもてなし。その差は料理とともに出されるワインを見れば歴然だそうです。格付け

の基準も「大統領と相手国首脳の個人的な関係性と、フランスとその国との関係性が大きな要素」と述べ、「たとえば英仏協商100周年を記念して開かれた歓迎会では、英国王室とエリザベス女王に敬意を表し、かつてイギリス領だったボルドー産の最高級ワインを提供している。その一方で、当時の日本の羽田首相がフランスへ公式訪問した際の昼食会では、プロヴァンス産のテーブルワインが出された。そこには羽田内閣に対するフランス側の読みと判断が見てとれる」と話されました。

その後、日本での饗宴の話に移り、首相官邸には料理人がおらず、提供する料理は、官邸が依頼する5つのホテルの中から入札か輪番で決められホテルがつくることなどが紹介されました。また、官邸では基本的に飲み物は白と赤のワインと清酒を

出しているが、野田首相がキャメロン英首相を迎えたときは、日本で唯一の外国人(英国人)杜氏が造った日本酒でもてなしたところなど、官邸で出された過去のメニューと合わせてさまざまなエピソードを披露。また、以前は洋食、和食、和洋折衷の3種類の選択肢を提示し相手首脳の希望を聞いていたのを、2014年から和食一本で統一したことに触れ、これは和食のユネスコ無形文化遺産登録が追い風になっているとともに、安倍首相が日本の食文化を積極的に外交へ活かそうとしていることの表れだと解説されました。最後に「饗宴は単なる飲食ではなく政治の延長。いかに相手を大切に思っているかを、食を通して伝える場であり、外交の重要なツールである」と語る西川氏の言葉に、深くうなずく参加者の姿が見受けられました。

テヘラン、パリ、ローマの特派員を経て、世界のトップの宴席の舞台裏を見つめ続けた外信記者。
オックスフォード大の歴代ベスト15に選ばれ、世界選抜でもプレーした経験を持つラグビー選手。
一流の世界に身を置き、見てきたものは、感じたことは、学んだことは何だったのでしょうか。
臨場感あふれるエピソードの数々に、参加者があつという間に引き込まれる講演になりました。

第24回 企業経営講演会

2015年7月8日(水)開催



演題

若者が瞳を輝かせる、 心あるリーダーシップ像とは

講師

はやし としゆき
林 敏之氏 特定非営利活動法人ヒーローズ 会長



ラグビー日本代表を13年間務め、神戸製鋼の7年連続日本一にも貢献。現役引退後は、ラグビーを通じて得た感動を子どもたちに伝えたいとNPO法人を立ち上げ、感性の教育に力を注いできた林氏。講演では、ラグビーから学んだことの数々とリーダーの条件についてお話いただきました。「命をかけて戦う、そんな熱いラグビーに出会わせてもらった」と語るのは、全日本

高校代表に選ばれて行ったオーストラリア遠征のこと。このときの恩師との出会いが、ラグビーとの運命的な出会いだったと振り返りました。その後、大学、社会人と続くラグビー人生の中でさまざまな出来事とそのときの感情を熱く語る林氏。神戸製鋼時代、8連覇がかかった大会で負けたときの試合をこう分析します。「勝ち続ける中で、勝つ喜びがだんだんわからなくなってきた。その分だけ負ける悔しさもわからない。何か大事なものを鈍らせて、よどませてしまっていたような気がして仕方なかった」と。また、「知は力なり」という言葉があるが、ラグビーをやっていたらそんなことないと思うんです。頭からは力が湧いてこない。力は、感動から湧いてくる。つまり感動を失った神戸製鋼は勝てなかったんです。いかに感性を磨くことが大切かを

説きました。さらに、リーダー像については、ベルギー大学のジョセフ・パジール教授によるリーダーの3つの条件を挙げて説明。「リーダーは人に動いてもらって仕事をする人です。では動いてもらうにはどうしたらいいか。それは感じてもらうこと。人のことを感じることでできず、人に感じさせることができなければ人は動きません。そういう意味で感性は力です。ラグビーは思いを託されるスポーツ。思いを託された人はボールを持つて走る。そしていろんな見えないものを背負っている。目に見えないものが大事。ジャージを着られなかった奴の思いを託されて、その思いを感じるか感じないか、それが感性です」。湧き上がる感動体験の必要性を力強く説く林氏の魂が込められた言葉に、会場の皆様も心を熱くしていました。

朝のにおいについて

岡本信也
text by Shinya Okamoto

JR名古屋駅の周辺が超高層ビルの工事であわただしい。時々この辺りを散策しているが、ある時、見知らぬ老人に会った。その白髪の男は旧

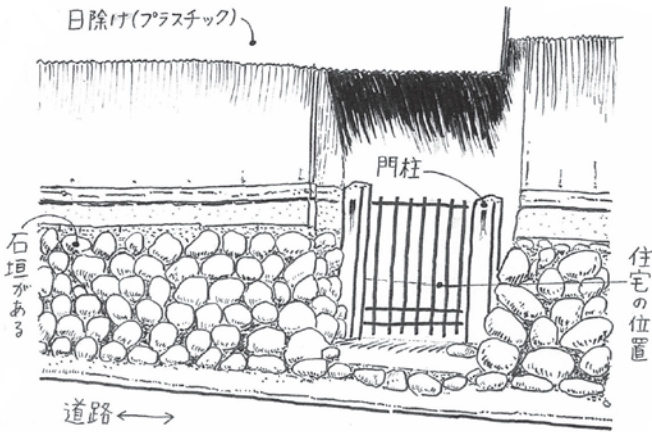


図1 名古屋駅・西側の町で

国鉄・名古屋駅の鉄筋コンクリートのビルが建つのを、田圃の中で見たおぼえがあるとと言う。この駅「ナゴヤステーション」ができたのは1937年(昭和12)だから、老人はそれ以前に生まれていたらしい。

以降、駅裏の新幹線ホームの完成と駅前地下街、近年のステーション解体と超高層ビルの建造を見ており、立ち話で途切れ途切れに回想を聞いた。何が記憶に残ったか、たずねたら、空襲で焼け残った「ステーションと敗戦後」と返事がきた。出会ったのは10年前であった。たしか、古い木造家屋の前の道端(図1)だったような気がするが、不明である。現在、(一)存命なら百歳を越えておられるだろう。

戦争日記に出会う

この夏、『夢声戦争日記抄』を読んだ。「1945年(昭和20)7月30日、

B29とP51に対する私の関心は南瓜かぼちゃと胡瓜きゅうりに対する関心と同じ程度である。朝から夕まで警報の出つづけであったが、私の頭脳の中は敵機よりも南瓜の方が幅を利かせていた」文中「私」とあるのは徳川夢声さん

草花をうえる

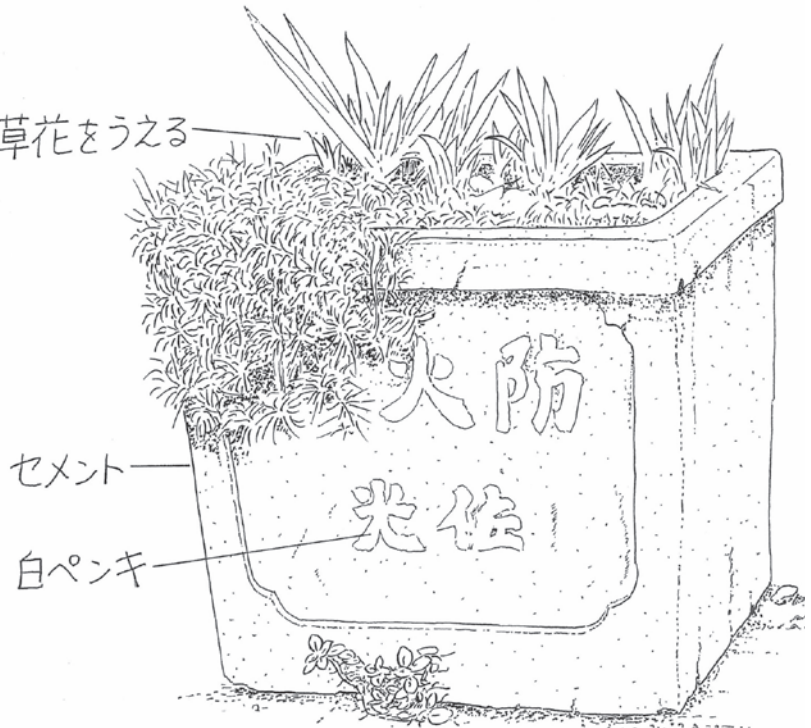


図2 防火用水槽に草木を植える(2003年・岐阜県内)

その人である。大正初期に無声映画の活動弁士で、後年はNHKラジオ・テレビ番組で活躍した(1894年、1971年)。

警報とあるのは米軍爆撃機B29と戦闘機P51による日本への空襲である。空襲よりも南瓜の方が重大事だった。

さらに8月9日の日記では…、「いざという場合には花草よりも野



「俗事百工起源」(1865年)

図3 散水の風俗・江戸末期

菜が大切(中略)花の美しさを愛でるより実の美味^{うま}きが勝つ。8月27日、門前ノ防空用水槽、富士子二手伝ワセテ柿ノ木ノ下へ並ベル。私ヨリ彼女ノ方ガ力アルラシ。早速、コノ中ニ堆肥ヲ入レル。日記の余白に「秋暑し押し転がすや防火槽」と句を記している。

ここに出てくる「防空用水槽」は当時、空襲のため各戸の軒先や路地に置いていたもので、この中へ土を入れて野菜か何かを栽培しようとしている。終戦70年経った今でも、セメント製防空用水槽もしくは防火用水槽(図2)に土を入れて、花草木を植えている家を見る。東京や名古屋の大都会にかぎらず、周辺の町々でもこのような光景に出会うことがある。むしろ、今では食用の南瓜・野菜ではな



図4 マーメイドとパン・名古屋市内

く観賞用の花や植木が多い。食糧難だった頃の防火槽ではない。

敗戦後、どこの町でも土や砂利を敷いた道が多かった。雨が降ればぬかるみ、夏の乾季には砂・土埃^{ほこり}が舞う。埃をおさえるために、用水槽の水を汲んで散水する家があった。もともと古くは桶で散水していたのだろうが(図3)、私が記憶しているのは街中を散水車が走っていた。水の入ったタンクを積んだトラックが如雨露^{じょうろ}のようにして水をまく。散水車の後方を追って走っていると、土埃と夏草のむせ返るようなにおいがした。道は土のにおいがした。

において思い出した。英文学の吉田健一さんが『英国に就いて』の書中で、英国の朝食の話を書いている。ハムを

食べるとハムのおいがし、朝の気分と同じ新鮮なおいがする。パンは麦のにおいがし、焼いてバターをつけるだけでトーストは旨い。英国の日常的生活、食卓に朝のにおいがすると。またスコットランドではマーメイドがあつて、そのオレンジの苦味が旨いという。私も偶然見つけた輸入品マーメイド(図4)をパンにつけて食べてみると、なるほど風味があつておいしい。これが英国の朝のにおいかと。

わが日本国では炊たてのご飯、お味噌汁が朝のにおいである。これに代わる朝はないように思われる。あの所で吉田さんと夢声さんが対談した記事を見た。敗戦後の吉田さんが自製のカストリ焼酎を飲み、モク拾い(たばこの吸い殻)の貧乏的生活で文学をやるうとした話。一方、夢声さんの日記では未成熟な南瓜やトマトの実、乾パンをお味噌汁に浮かせて食べたり、知人とジュラルミン(日本軍用機の廃材)をとかして鍋でも作ってみるか。夢声さんがヤケツパチな話をしている。死にもぐるいで生きた戦争世代の人たちは、戦後世代と少しちがうようである。明日がないような暗黒な社会であっても朝はくる。



ナゴヤステーションと構内
(旧・国鉄名古屋駅・1993年)

乾パンを浮かせたお味噌汁であっても朝のにおいがしたのであろう。

名古屋駅裏で立ち話した白髪の老人は、ドヤ街、ヤミ市、汗のにおい、土埃の町に住み続けて、「敗戦後」の何を語ろうとしたのか。

シーズ紹介 研究室訪問

● 食品栄養科学

微生物の無限の可能性を信じて、
人に喜ばれるものづくりを研究する。

応用生物学部 応用生物化学科
つかもと よしのり
塚本 義則 教授

[専門分野] 応用微生物学、発酵生産、食品栄養科学
[研究テーマ] 酢酸菌の産生する有用物質の高発酵生産 / 味覚受容体センサーによる味覚修飾物質の微生物培養物からの探索と健康への応用



日本の抱える
問題を解決する
研究を目指して。

日本の成人人口の半分近くにあたる4000万人が、生活習慣病もしくはその予備軍です。この現状を放置すれば医療費がかさみ、医療行政が破綻することは目に見えています。医療費削減のためには薬ではなく、普段の食事による生活習慣病予防が欠かせないと考える塚本教授は、主に酢の持つ生理機能に関する研究など

をミツカングループで長きにわたり取り組まれてきました。現在は天然物もしくは微生物による発酵物から、食酢を飲みやすくする酸味抑制物質を探索する研究に取り組まれています。「一定量の酢を約2週間以上飲み続けると血圧上昇抑制、血糖値上昇抑制、体脂肪抑制などのさまざまな効果があることが分かりました。しかし、酢特有の刺激的な酸味のために継続的に飲み続けられない人がほとんどです。酸味抑制物質が見つければ、酢が飲みやすくなり、生活習慣病予防につながります」。世の中に価値を提供して喜ばれることを研究の目的とする塚本教授らしさが垣間見えます。

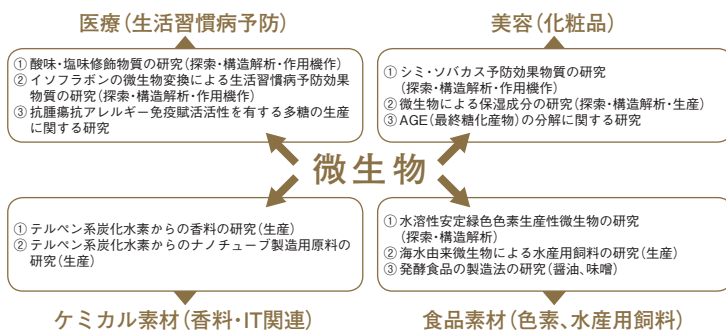
豊かな暮らしの
実現と企業成長の
カギを握る微生物。

微生物の持つ多様な機能を

応用した塚本教授の研究範囲は、生活習慣病予防などの健康に関わる医療とシミ・ソバカス予防効果物質や保湿成分などといった美容分野を主に、微生物を使ってテルペン系炭化水素から香料やナノチューブ製造用原料を生産するケミカル素材分野、海水由来微生物による水産用飼料や安全な天然色素を生産する食品素材分野へと広がりを見せています。「グローバル社会となり、各企業も生き残りに必死です。これまでは考えられなかったパラダイムシフトが起こるなど、目の付けど

ころ次第では成熟産業にもビジネスチャンスの可能性が十分にあります。私の研究も成果が出始めたところですが、事業化に向けて企業と上手く連携の可能性を模索していきたいです。微生物のもつ多様な機能によって、私たちの暮らしがより豊かになる日は近いのかもしれません。

■微生物の力を応用した研究展開



7学部を擁する総合大学として多分野を横断する共同研究体制を整える中部大学。

今号は社会への貢献が期待される4つの研究活動をご紹介します。

産官学連携あるいは事業化等にご活用ください。

● 災害情報学・
放送メディア

人文学部 コミュニケーション学科
メディア教育センター

三摩 真己 教授

映像と言葉による放送メディアの 情報伝達のあり方を検証・実践する。

[専門分野] 災害情報、メディア、映像制作 [研究テーマ] 災害情報、メディア論

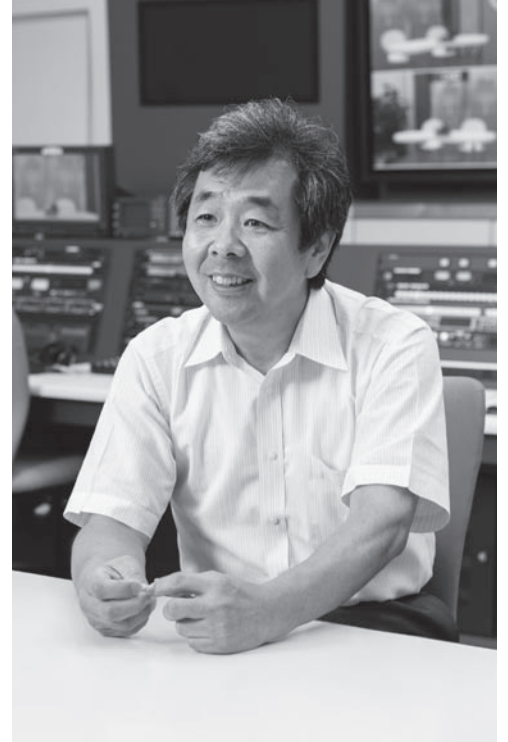
緊急度の高い情報を 明確に伝える。

地震・火山の活動期に入ったとも言われる日本列島。ここ数年、異常気象による自然災害も増えてきました。三摩教授はNHK(日本放送協会)での災害を中心とした取材、ニュース番組制作、編成などの現場経験を基に、災害情報と放送メディアを専門とする映像と言葉による効果的・効率的な情報伝達について研究をされて

います。「これまで災害情報や地震・津波の専門家の方々と意見交換する中で、生命・財産に関わる緊急度の高い災害情報を、いかに先入観や偏りなく明確に伝えられるかの重要性を強く感じてきました」。その言葉通りNHK社会部時代のエピソードとして、切迫性の高い火山情報にも関わらずその名称によつて情報が軽視されてしまつたと考えた災害情報の研究者が行ったアンケート調査の結果をニュースとして取り上げ、気象庁に問題提起をしています。

映像制作の 経験を活かし、 地域社会に貢献。

「話をしている人の映像を撮影する場合、その場の雰囲気や話を聞いている人の反応など一歩引いた視点からの映像を組み合わせることで、より正確で効果的な情報伝達が可能になります。このような映像制作のノウハウを活かし、学生たちと学内イベントや先生たちの研究活動をVTRにまとめ、先生や地元ケーブルテレビ局へ提供しています」。現在、春日井商工会議所に加盟する企業を対象



す。現在の火山情報に「警報」という言葉が含まれるまでに至つたのも、そのような問題提起があったからです。「今度は放送メディアの外側から、放送メディアで使われた言葉や映像による伝え方について考えていきたい」と研究への意気込みを覗かせます。



メディア教育センターでの映像制作の様子



にした映像制作活動を計画中的のこと。実現すればプロモーションや営業ツールとして活用できる映像を企業に提供できるだけでなく、映像制作を通して学生が企業活動を知る良い機会が生まれ、地域経済の活性化とともに学生の成長が期待されます。今後、この新たな挑戦に注目が集まりそうです。

有機合成に広く役立つ 分子性酸触媒の設計と開発

総合工学研究所長、分子性酸触媒研究センター長

山本 尚 教授

[専門分野] 有機化学、合成化学、生体関連化学 [研究テーマ] 反応有機化学、合成有機化学、不斉合成、錯体有機金属触媒、生体機能関連化学

分子技術まで
踏み込んだ
設計が不可欠。

「二人の気持ちを変化させるお見合い結婚の仲人、それが触媒です」。そう例える山本尚教授は、ルイス酸触媒の研究を中心に、多数の有用な触媒的有機合成反応を開発し、国際的に先導的役割を果たしてきた一人です。しかし、山本教授は「燃料電池、医薬品、農業など、さまざまなものに不可欠な触媒ですが、グリーンなブ

ロスによる触媒はまだまだ足りません」と言うように、研究が未だ道半ばであることを強調しつつ、長年にわたり企業のコサルを行ってきた経験から、今後の産業の発展や企業の成長のカギを握るのが新たな触媒の開発だと言います。「日本は科学技術の分野でいろいろなイノベーションを起こしてきました。でもすぐに他国に追随されてしまう。それは特許でカバーが可能な化合物の段階まで戻って考えていないからです。さらに、先を見据えて次

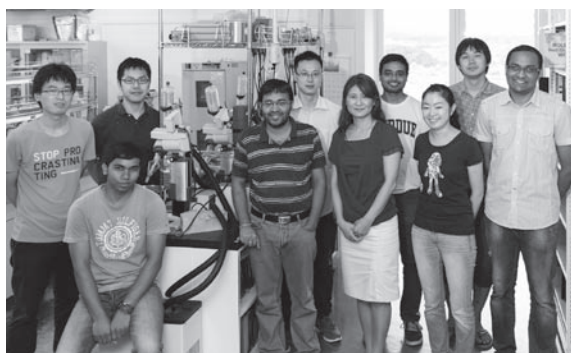


から次へとイノベーションしていく人材を育てる体制をつくらなければなりません。分子技術“はその体制づくりのための素地です”。分子レベルの制御を可能にした設計が、化学の発展、ひいては触媒を扱う企業にとっても生き残っていくための術と言えそうです。

常に“新手一生”で
オンリーワンを
探し出すこと。

また企業が画期的な触媒を開発するためには、10〜15年先の明確なイメージを持つことが大事だと言います。「研究を続けて圧倒的に有利なものを作り上げることができれば、成長が見えてくる。つまり、オンリーワンを探し出すこと。他社が真似できない技術を化学で持てるかどうかで成長できるか否かが決まります」。金属を用いた触媒から有機分子触媒へ。また環境や安全性に配慮した

手法に移行してきた触媒の開発は、社会に不可欠です。まず期待が高まる領域です。「化学の研究は、灯台のない海に灯台をつくること。光を照らせば船がたくさん集まってきます。すると船がたくさん魚を獲って行ってしまう。だから常に新しい灯台を作り続けなければならぬんです」。「新手一生“をモットーにする山本教授。定石を自ら創っていく研究は、今日も行われています。



山本教授が「私の宝」と称する研究者の皆さん。



中部大学研究支援課では、企業の皆様のニーズに応じて、関連分野の研究者を紹介しています。共同研究や委託研究など、研究支援の相談窓口としてお気軽にご相談ください。

研究支援課

幸友会事務局を介したご相談も承っております。

0568-51-4852 (直通)

[幸友会事務局] 0568-51-4740 (直通)

公衆衛生学

職場の自主的なリスクアセスメントで、労働条件の改善手法の構築を支える。

生命健康科学部 保健看護学科

城 憲秀 教授

[専門分野] 公衆衛生学、産業保健学、環境保健学 [研究テーマ] 産業疲労、国際保健協力、喫煙と健康

いま、企業に求められる疲労対策とは。

第三次産業の労働が増えるにつれ、フィジカルからメンタルへと疲労の質が変化している近年、疲労対策もますます重要になっていきます。城教授が進めている研究は「産業疲労」について。疲労という生理的な側面の究明と同時に、実務的な側面、つまり企業がどのように対応すれば疲労を軽減・回復できるかを研究していま

す。「自分の感情を抑えてユーザーや消費者のニーズに応える、そのときに感じるギャップで心が折れてしまう情緒的疲労が増えています。しかし、労働が一番多い業務上疾病は腰痛であるように、決して肉体的な側面も忘れてはいけません」。メンタルとフィジカルの両方の疲労対策を考える必要性を強調するとともに、中小企業における産業衛生にも言及。「労働環境が整っていない企業もまだ多い中、労働負担をいかにコントロールできるか、量的

および質的なコントロールだけでなく、いかに対抗措置をとれるかを考えていきたい」。ほんの少しの変化で改善されることも多いと言います。

生産性にも影響する労働者の健康。

労働基準法や労働安全衛生法などの法律に基づき、さまざまな対策がとられてきたわが国ですが、労災の発生頻度は横ばいです。「今後は法律ベースではなく、もっと各職場・職種でのボランタリーなリスクアセスメントによって対応していかなくてはなりません」。自主的な改善策の必要性を説く城教授は、問題点の発見と同時に解決法も提示されたチェックリストを紹介。立ちっぱなしの作業には座位での作業も選択できるように椅子を用いる、重い工具は吊り下げ式にして負担を減らすなど、簡単に自ら実践で



きるチェックリストは、あらゆる場面で有効活用が可能です。さらに、「労働者の健康レベルの向上は、結果的に生産性やサービスの向上にもつながります。また、メンタルな疲労には人間関係だけでなく、職場全体の雰囲気や環境を変えるなどの総合的な改善策と、そうなる前の予防が大切です」。城教授は、職場における一次予防の普及にも力を注いでいます。

■作業環境の改善方法例



改善前
騒音発生機器がむき出しのまま工場内に設置



改善前
作業用の椅子はあったが背もたれがない



改善後
騒音発生機器の周辺を壁で囲う



改善後
椅子に背もたれをつけた



健康づくりの土台は “人と人のつながり”である

中部大学 生命健康科学部 スポーツ保健医療学科 准教授 ^{ふじまる}藤丸 ^{いくよ}郁代

健康づくりのための「運動」は
まだまだ足りない

わが国の健康づくり対策は、1978年（昭和53年）「国民一人一人が自分の健康は自分で守る」ことを基本として本格的な取り組みが始まり、主に「栄養」「運動」「休養」の3本柱で具体的に推進されてきました。当時、私が保健所に勤務していた頃は、脳血管障害、特に脳出血が死因の一位を占めていましたので、「減塩指導」を中心とした栄養指導を行っていました。そして、「週に3回以上20〜30分くらい少し速めに歩いてください」と説明すると、「いつも動いている」「疲れているのに運動してこれ以上疲れることはしたくない」「そんな時間は忙しくてとれん」など、「栄養」に比べ「運動」を日常生活に取り入れることは相当難し

い習慣なのだとして強く印象づけられました。

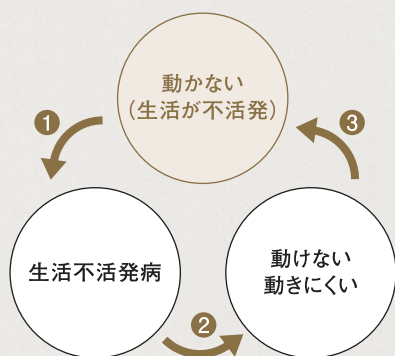
今日、いろいろなところで歩いている人や体操している人を見かけると、多くの方が運動に対して意義や必要性を認識し、以前よりは運動が日常生活に定着してきたのではないかと思います。その背景には、「運動」が、超高齢化社会に向けて生活習慣病予防（メタボリックシンドローム予防）や介護予防（ロコモティブシンドローム予防）として、欠かせない健康づくり対策として認知されてきていることや、「身体活動」という生活活動を含めた活動として啓発されていること、さらに運動指導の専門職の養成によって、その指導体制が整備されることにより、より運動を実施しやすい環境になるような対策が推進されてきていることなどがあげられます。しかし、健康日本21の最終報告では、

定期的な運動習慣の割合は、男性32.2%、女性は27.0%と低く、また日常生活の歩数でも男性7243歩、女性6431歩と目標値に達していないのが現状です。今後も運動、身体活動量増加策は重要な課題であると考えています。

生活不活発病

現代社会は運動習慣がまだまだ不十分と言える状況ですが、さらなる社会問題は生活不活発病です。これが注目されたきっかけは、東日本大震災です。被災後に環境が変化し、今まで行ってきたことができなくなり、日常生活や外出の制限を余儀なくされ、生活が不活発になります。このような生活不活発状態が続くことで、心身の機能が低下して、動けなくなる状態のことを生活不活発病と定義しています。

■生活不活発病進行の悪循環



大川弥生：「動かない」と人は病む 生活不活発病とは何か 講談社現代新書 2013 p18より転記

そして、生活不活発病になった人たちを生活不活発者と言います。一旦、生活不活発病がおきると、歩きにくくなったり、疲れやすくなったりして、さらに動かなくなるといふ悪循環が繰り返され、最終的に寝たきり（学術的には廃用性症候群という）に移行していきます。

生活不活発病の状態は、高齢者だけに起こるといふことではなく、生活の場において動けなくなった状態あるいは動けない状態に陥った場合には、だれにでも起こりうる可能性が

あります。ある友人が私に話したことです。子どもが大きくなり、家事が減ったため動かなくなったそうです。私自身も年齢とともに、活動時間が減って休む時間が増えていきます。着実に生活不活発者に近づいています。生活不活発病の提唱者である大川弥生先生は、生活不活発病の予防や回復のためには「生活を活発にすること」「つまり「生活を楽しみ、社会に参加し、生きがいのある充実した生活をおくることが大事である」と述べています。このことは、「生活の質」(クオリティオブライフ)の向上そのものと言えます。生活不活発病は、「毎日の生活のありよう」と直接関係が深い病気です。日常生活を活発に過ごしていること自体が、健康づくりを行っていることとイコールであると言えます。

ソーシャル・キャピタルを
活用して

日常生活を活発に過ごすためのキーワードが「ソーシャル・キャピタル(Social Capital)」です。これは、人と人のつながりを通じて何らかの利益や成果を得ることができるといふ社会組織の特徴のことを言います。住む人々同士の信頼関係がある地域とそうではない地域とを比べると、信頼関係のある地域の方が身体活動量が高いという研究成果があります。東日本大震災時には、人々がお互いに励まし合い、多くのボランティアの支援活動、そして、「(家族の)絆」の大切さがあらためて見直されました。この絆は、まさにソーシャルキャピタルです。東日本大震災で問題となった生活不活発病に対する1つの対策として、「絆」が働いていたのではないのでしょうか。

現代社会は運動習慣が増えずに、メタボリックシンドローム、ロコモティブシンドローム、生活不活発病に陥る危険性を孕んでいます。運動は簡単に取り組みにくい負担の大きい難しい習慣であるとしても、お互いの絆やつながりをもち、サポートしてもらいながらすすめられたら運動習慣が身につくとき、日常生活を活発に過ごすことができるのではないかと考えています。

まとめ

健康づくりには、運動や身体活動量の増加が欠かせませんが、最も基本的なことは活発で生きがいのある日常生活を過ごすことです。このような生活を過ごすためには、地域社会で他の人とつながりをもってお互いにサポートし合うことが必要です。



第7回

本棚から
社会を見る

食の安全性、地産地消の推進、生活習慣病を予防するための食生活など、
食や健康に対する意識が高まるとともに、食育という言葉も広く浸透しています。
では、私たちは食育について、どれだけ深く考えたことがあるでしょうか。
今回は、科学的食育研究の実践活動を通じて次世代の人材養成を担う
次世代食育研究センターのセンター長である横山教授にお話を伺いました。



今回のテーマ

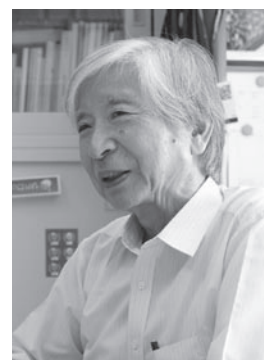
真の食育について 今一度考える。

今回お話を伺った方

中部大学次世代食育研究センター長
総合学術研究院プロジェクト研究員
応用生物学部 食品栄養科学科
よこやま しんじ

横山 信治 教授

1972年東京大学医学部卒業。内科
研修後渡米、シカゴ大学研究員から助
教授。国立循環器病センター研究所
室長、カナダのアルバータ大学医学部
教授を経て、2011年中部大学に赴
任。長年、コレステロール代謝と動脈硬
化症の予防と治療に取り組んでいる。



—食に対する関心の
高まりとともに「食育」の
大切さが強調されていますね。

「食育」という言葉が一般的に使われ始めて久しいですが、その言葉の意味や捉え方は人によって違うように思います。一つの背景として、従来の学校教育の「知育・体育・徳育」に「食育」が加わり、正しい食の知識や食習慣を身につけさせ、しっかりと栄養を摂りましょうという取り組みがあります。その一方で、健康を害するまでになってきた過剰なカロリー摂取や肥満による糖尿病や動脈硬化という生活習慣病の問題もあるでしょう。またもう一つは、もっ

と社会的な問題として、農村型社会から都市型社会へ移行したことで、伝統的な生活サイクルや食事の取り方というものがだんだん崩れてきたことがあげられます。つまり「食べる」ということについて、従来とは違う視点で考える必要が出てきたわけです。しかし、食の問題は考えれば考えるほど実は非常に難しく、深刻な問題であると思っています。

— 深刻な問題とは どのような点でしょうか。

本質的なことを言えば、人間が知恵をつけたことに端を発するのですが、人間は自然を受け入れるのではなく、自然に働きかけるという歴史をたどってきました。そうして今に至り、今さら元に戻すわけにもいかず、自然とどう折り合いをつけるかが課題になっています。そしてもっと言えば、食べ物問題は生態系そのものの問題と言えます。栄養とは簡単に言えば、必要なものを摂るということです。それは言い換えれば、他の生き物とこれらを使い回すシステムです。糖やたんぱく質、脂肪やビタミン、全部ほかの生物

からいただいています。つまり、生命体は生態系の中で互いに材料を融通し合って生きています。食物連鎖のピラミッドであたかも人間が一番上にいるかのように言われたりしますが、人類もただの生物であり、その中の一部に過ぎません。

— 人間も地球上の 生物の一種だと 認識しなければなりませんね。

栄養素の中には、私たちの体にも必要ないものがあります。それが必須アミノ酸。たんぱく質を構成している20種類のアミノ酸のうち、9種類のアミノ酸は体の中で合成することができず、外から摂取しなければなりません。では、なぜそのように摂取が必要なのかと体内でつくられるものという区別が私たちの体にできたのでしょうか。それは、おそらく進化の過程で、摂取が必要なものではなく、体内でつくる必要がないほど簡単に手に入るといえます。つまり逆の考え方で、どうしても外から摂取できないものを体内でつくってきたということ。人類が森の中で果実や穀物を拾って食べていた時代は、どんな栄養素が

必要かなんて考えていません。やがて、人間は調理することを覚え、食を文化にして、農業や食料調達の技術が発達させてきました。それは、生物としての「食べる」ということから逸脱し、食えることが生物学的営みから、文化的営みへ変わっていったことを表しています。人間が野生動物として生きてきた時代から長い時間をかけて人工的な生活環境へと変化してきたのです。そうして自然環境の中で自然にできあがってきた人間の代謝システムが、人工的な環境の中で暮らすようになったことで、いろいろなところに穴があいていることに気付いたわけです。人類の文化の歴史から見ると、わりと急激な変化はやはり産業革命以降ですが、生命の歴史で見れば、ただか200年余りというとても短い時間。その中で起こった環境や食、生活スタイルの変化に、私たちの遺伝子の進化は到底追いつくことができないのです。

— 環境の変化があまりにも 急激であることが深刻さを 増しているのですね。

もう一つ深刻な理由は、食の供給

体制自体が産業化していることです。食が文化になり、今や文化を通り越して経済に、その経済も金融が支配する経済になっています。言ってみれば食の供給体制が経済活動そのものになっているわけです。戦後間もない頃までは、江戸時代と変わらないような手作業で農業を行い自給していた時代だったのが、それから数十年後、いつでもコンビニで簡単に弁当が買える

食の問題は
生態系の問題そのもの、
人類全体の問題として
捉えなければならぬ。

Book Review

横山信治先生の

私の一冊



「もの食う人びと」

辺見 庸

共同通信社 (1994年)

この本をいつどこで購入したのかは覚えていない。8年勤めたカナダの大学から名古屋の大学に移ってきたころで、出張の機内や車内での時間つぶしのために手頃な文庫本として何となく手にしたのだらうと思う。どこかでタイトルを見て記憶していたのかも知れない。しかし、こうしたルポルタージュ風の内容はあまり読まない私であったが、その内容に引きずられて一気に読んでしまったことは鮮明に覚えている。これは、ものを食う、という生物としての本質的行動と、人間の文化としての「食」の有りようのせめぎ合いを、世界の様々な歴史的地理的文化的政治的な局所における「事実」を容赦なく書き連ねることで表現した、希有な読み物である。5年前、中部大学で食と栄養について教えることになったとき、真っ先に頭に浮かんだのはこの本のことであった。新聞の連載として最初に書かれてから二十年以上たっているはずであるが、今、ここで提起されている問題はますます深刻になっているとしか言いようがない。

時代になりました。これはすさまじい変化です。先にも述べましたが、生きていく上での動物としての本質的な行動は、「ものを食う」ことですが、そういった供給体制は完全にそこから外れています。また、本当に恐ろしいのは、食の供給体制が完全に社会のインフラになっていることで、自然災害や震災が起これば、大混乱を招くことは明らかです。インターネットがあつたという間に私たちの生活のインフラになつたように食の供給体制も同じ。社会全体が一つの組織化されたシステムの上でしか機能しなくなっており、個々の力だけでは生きていけない世の中になつてしまつていゝのです。

—そういう中でも個人としてできることはあるのでしょうか。

食の供給体制の発展によって確かに暮らしは便利になりました。このシステムに依存しなければ生きていけなくなつていくことも事実です。ただし、この食の供給体制が商業的である以上、さまざまな規範や基準があり、衛生面などから破棄せざるをえない大量の食料が発生します。この必然性に出てくる無駄によつて、どれだけ人類の飢餓を救えるでしょうか。こういった矛盾も踏まえて、どのように日本の中で食料を自給していけるかを真剣に考えなければなりません。さら

に持続可能な社会を考えるとき、その先には必ず生態系の問題が出てきます。地球上に生命体が存在していること自体が生態系全体の問題であり、生態系を壊せば人類は生きていけないことを忘れてはいけません。たとえば日本の農業を救うために、付加価値の高い商品作物で収入を上げるといふ話もありますが、そういうレベルの問題ではないように思います。

文化としての食習慣の進化は、世界中の食材の取り合いを招き、食料問題はこれから深刻になる一方です。しかし、学生に食や栄養について教える立場としては、生態系、食、文化など、あらゆる分野について自分の考えを持

ち、具体的な問題に対処できる職業人を育てたいと思っています。科学としての栄養学、つまり分子生物学まで含めて理解できる人、さらには長い人類や生命の歴史全体も踏まえて、生命や摂食という問題における哲学を育てる人になつてほしいですね。食の問題は人類全体の問題であることを認識し、私たちは知恵を出さなければならぬ、そういう時代になっていると思います。

会員企業の魅力とともに、中部大学卒業生を紹介する「幸友会会員企業を訪ねて」。現在活躍中のOBに、会社の特徴とご自身の仕事への想いを語っていただきました。

幸友会 会員企業を訪ねて

File 01



株式会社杉本組

[住所] 〒460-0024 愛知県名古屋市中区正木四丁目10番15号 杉本ビル
[電話] 052-681-6541 [代表取締役社長] 杉本 高男 [創業] 1943年
<http://www.sugimotogumi.co.jp/>

誓いの言葉

- 一、お客様の満足を高め、信用を築こう。
- 一、生産と効率の向上を通じ、財務体質の強化を計ろう。
- 一、人間的豊かさを身につけ、情熱と信念を持って行動しよう。

営業種目

1. 建築・土木・その他建設工事全般の企画・設計・施工・管理に関する業務
2. 不動産の売買・賃貸借・管理・仲介に関する業務
3. 損害保険代理店に関する業務

愛知万博
愛知県パビリオン



レクサス春日井



大和エネルギー株式会社
オフィスビル「EneLF7」



すぎもと よしたか
杉本 好隆さん

株式会社杉本組 参与執行役員
中部工業大学 工学部 土木工学科
1979年度卒業

社会のニーズに

応えられる

総合建設サービスを

目指して。

当社は「建設の元請企業」として、愛知県を中心に住宅・マンション・商業施設などのあらゆる建物の建設を通じて地域社会に貢献してきました。「総合建設サービス業」をキャッチフレーズに掲げ、建設工事の企画・設計・施工から不動産の売買・管理・仲介までを「ワンストップサービス」で提供できるのが強みです。創業以来、お客様との密なコミュニケーションと迅速な対応を重視して、地域からの信頼を築いてきた事に自信を持っています。近年は万博誘致によって生まれたニーズの中で、「愛知万博愛知県パビリオン」、「中部国際空港設備棟」、「アスナル金山」といった街のシンボルといえる建物を施工させて頂きました。こうした仕事を通じて社会的責務を果たすためにも、多くの社員が一級建築士や一級施工管理技士などの資格を取得し、コンプライアンス意識を高めています。

他に先駆けて

取り組み、

お客様の満足に

つなげる。

現在、私は当社の参与執行役員としてお客様や他の社員の相談に乗る中で、「会社が一つの専門性に特化するのではなく、社会のニーズに沿って変化していくことが大切」だと考えています。例えば高度経済成長以降、日本中に物が溢れ「作った物が余る時代」になりました。その中で建築物も例外ではなく、建設後の有効活用についての提案も当社の役割として力を入れて取り組んでいます。中でもマンションは投資に見合っただけの収益をあげる必要がある為、自社で保有するビルの運営で得たノウハウをお客様にどんどん提供するようになっています。また、当社では世の中のニーズが高まる前から耐震改修や高齢者施設等の建設に積極的に取り組み、他社に先駆けてその専門知識を蓄積してきました。このような「先を見据えた取り組み」をお客様の満足に繋げ、喜びの声に変えていくことが私の仕事の大きなやりがいです。

株式会社両口屋是清

[住所] 〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内三丁目14-23

[電話] 052-961-6811

[代表取締役社長] 篠田 尚久

[創業] 1634年

<http://www.ryoguchiya-korekiyo.co.jp/>

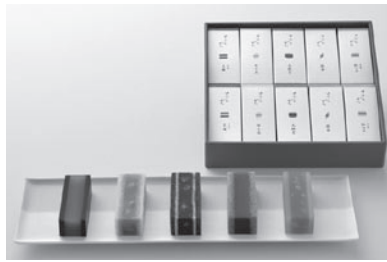
事業内容 和菓子の製造、販売



八事店(名古屋市中天白区八事天道302)



職人の手で丹念に作られる生菓子



ひとくちサイズの可愛い和菓子「さくらがた」



にわ しゅんすけ
丹羽 俊介さん

株式会社両口屋是清 製造部 生菓子課
中部大学 応用生物学部 応用生物化学科
2009年度卒業

築き上げた

歴史に恥じぬ、

次世代に繋げる

果敢な挑戦。

1634年(寛永11年)に誕生した当社は今年で381年を迎え、安心・安全はもちろん「お客様の満足」を中心に据え、和菓子作り一筋に歩んでまいりました。歴史の中で磨かれた味は「千なり」「をちこち」「二人静」など、名古屋を代表する銘菓へと結実し、全国のお客様に親しまれるまでになっています。お客様のために何をしたら良くなり、喜んでいただけるのかは私たちの最大の関心事。老舗の味と言われることに安住することなく、次世代の伝統の味を生み出すため、日々挑戦を続けています。その中で生まれた「さくらがた」は、時代背景やニーズを踏まえ、3年近く掛けて考案した手のひらサイズの棹菓子。2012年の発売以来、多くのお客様のご支持をいただき、当社を代表する御菓子と並んで周知されるまでになりました。今後も常にお客様目線で考えることを重視し、次なる一手を考えていきたいと思えます。

伝統の味を

守り続ける、

一人前の職人を

目指して。

名古屋は全国的にもお茶の盛んな地域で、昔から季節に応じた生菓子が作られてきました。私はそんな伝統の味を守り続ける製造部生菓子課の一員として、生菓子の製造に従事しています。私どもの技術と感覚によって作り出される生菓子は、機械にはできない良さがあり、一見すると簡単そうですが、なかなか作れるものではありません。生菓子課に配属されて4年、まだまだ駆け出しの自分です。当社には凄腕の職人が多くいますので、技術を見て盗みながら腕を磨いているところなんです。月に2回変わる生菓子も、最近では既存の生菓子ではなく、形や色合いに変化を持たせた新しい提案を求められることが多くなりました。試行錯誤しながら考えることは大変ですが、採用されて店頭に並ぶことは何よりの醍醐味。仕事のひとつひとつに丁寧に取り組み、誰からも認められる職人を目指していきたいです。

掲載企業大募集!

中部大学幸友会会報誌幸友Vol.19は2016年10末日発行予定です。ただ今、次号の掲載企業を募集中。他にはない独自の技術を持つ会社、アピールしたい魅力のある会社を、紹介していきたいと考えています。「我こそは」という会員企業は、ぜひご応募ください。

お問い合わせ・お申し込み先

中部大学幸友会事務局

電話 (0568)51-4740 (直通)

File 03



小島プレス工業株式会社

【住所】〒471-8588 愛知県豊田市下市場町3丁目30番地

【電話】0565-34-6868 [取締役社長]小島 洋一郎 [創立]1938年

<http://www.kojima-tns.co.jp/>

社是

「和」 会社の中だけの「和」ではなく、より広範囲におよぶ「和」の集合、すなわち家庭の「和」を基盤とする集合が、会社・地域・社会、さらに国際社会の発展につながります。

長期テーマ

「人をつくり 人をまもる」「対話と参加」
社是「和」の精神を受け、相互に対話し、参加して、社会に貢献できる企業人を育み、真に豊かな人づくりを目指しています。

事業内容

自動車内外装部品(プラスチック・エレクトロニクス)及び金属製品の研究・開発・設計・製造



鉄部品

① 電池パック

樹脂部品

② レジスタ
③ スイッチベース
④ コンソールアッパー
⑤ コンソールボックス
⑥ エアクリーナーホース

電気電子部品

⑦ オーバーヘッドコンソール
⑧ ヒーターコントロール
⑨ ヒーターコントロール



つちかわ ひさのり
土川 久典さん

小島プレス工業株式会社 第2技術部 部長
中部大学 工学部 機械工学科
1989年度卒業

創業の精神を

受け継ぎ、

家庭的な会社で

あり続ける。

鉄・樹脂・電子に至るまで、自動車の

内外装部品の開発・設計・製造を手掛

ける当社の歴史は、トヨタ自動車の成

長に支えられてきました。創業者の小

島濱吉は異業種であったにも関わら

ず、何としても自動車部品の製造を始

めようと、名古屋から豊田自動織機

自動車部にあつた刈谷まで9ヵ月間通

い続けたそうです。その熱意が豊田喜

一郎氏に伝わり、部品製造を任されて

以来、トヨタ一社主義を貫いています。

当社では、創業者の言葉をまとめ

た冊子を発刊するなど、社員へ創業の

精神を受け継いできました。創業以

来の基本的な考え方に、「家庭の和の

上に企業の和がある」とあります。社

員と家族がこころ豊かに人生を過ご

せる施策の充実を図ってきました。

今年で創業77年を迎え、グループ全体

で従業員7500名の規模にまで成

長しましたが、創業者とその家族だ

けでスタートした頃からの「どこまで

も家庭的でありたい」想いは、現在も

変わっていません。

挑戦できる

環境を活かし、

お客様と会社の

要求にこたえていく。

自動車の機能に関わる鉄部品と

エンジン周りの樹脂部品の開発・設

計を担当する第2技術部の部門長

として、製品の設計・新商品開発の

マネジメントをしています。自動車

の進化と共に、仕事に要求されるレ

ベルが高度になってきました。大変

ですが、自動車という目に見える形

となって世の中に出ていくことに、

達成感とやりがいを感じています。

自動車の軽量化が求められる中、

部品も鉄から樹脂へとシフトしてき

ました。そのような中で私に課され

た最大のミッションは、第2技術部

担当部品の売上の伸長。投資の伴

う案件でも必要であれば挑戦させ

てもらえる環境が当社にはありま

す。まだ部品製造会社の住み分け

がされていない燃料電池自動車の

関連部品を視野に、売上の伸長を

狙っています。今後は社は「和」の言

葉通り、今まで以上に職場の全員が

働きがいのある環境をつくってい

たいと考えています。



虎溪山の名称は、景色が仏教の聖地、中国の廬山の麓の地、虎溪に似ていることによる。上部の写真は方丈内部と釈迦三尊のお釈迦様。

東海エリアの名所をめぐる旅

幸遊見聞記3



岐阜県
多治見市

虎溪山 永保寺
<http://www.kokei.or.jp/>
岐阜県多治見市虎溪山町1-40
TEL.(0572)22-0351

虎溪山 永保寺

国宝を巡り、
古の時代に思いを馳せ
禅の心に触れる。

岐阜県多治見市内を流れる土岐川沿いに佇む禅宗の寺院。鎌倉時代に建てられたというこの禅寺の正式名称は、「臨済宗南禅寺派 虎溪山永保寺」。今から約700年前の1313年、夢窓国師むそうこくしによって開創され、仏徳ぶつとく禅師ぜんしを開山として創建された寺である。臨済宗を全国に広め、高僧として有名であった夢窓国師が、この地で修行し、そこへ地元の人々が集まり一緒に修行するようになったことが始まりだといわれている。まずは朝夕の勤行や法要を行うための広間、方丈を修行僧の方に案内していただいた。

「一般的には本堂と言いますが、永保寺では、ご本尊の観音様が祀られている観音堂を本殿と言うため、こは方丈と呼んでいます」。2003年の火事で焼失したが、市民を中心とした募金によって以前と同じ姿で2011年に再建。内部は、真新しい木によって明るい印象を受けた。ここに安置されている釈迦三尊像は、仏師の江里えり康慧氏と人間国宝で截金師、故 江里佐代子氏の夫婦による合作だという。細く切り分けた金箔で模様を描く截金という技法で飾られた仏像は実に見事だ。「この新しいお釈迦様と、700年前の観音堂の観音様を対比して見ても面白いかもしれません」。

そうして次に足を運んだのは国宝の観音堂だ。先の方丈とは違う深みを感じる。夢窓国師が訪れた翌年の1314年に建立されたもので、その特徴的な点は唐様と和様の折衷様式にある。「中国の文化や建築技法が伝わっていましたが、それを部分的に取り入れた先進的な



観音堂の内部。須弥壇上(しゅみだんじょう)の岩窟式厨子に祀られているのが、県重要文化財の聖観世音菩薩坐像。



夢窓国師が直接建てたものとして唯一現存している建物「観音堂」。屋根は檜皮葺で30年に一度葺き替えを行う。屋根を葺く姿はまさに職人技だという。



観音堂の扉、棧唐戸の花狭間(はなざま)。軒下の波横様も中国様式の特徴。

永保寺の初代住職、仏徳禅師が祀られている開山堂。1352年、足利尊氏により建立と伝わる。建物が国宝に、仏像が県の重要文化財に指定されている。建物は後世の権現造の原型となる様式。



「臥龍池(がりょうち)」に架けられた「無際橋(むさいきょう)」。左の梵音巖(ぼんのんがん)上の六角堂には千体地藏が祀られている。紅葉の見ごろは11月中下旬。



が現れるということを表しているそうだ。

永保寺の特徴として、夢窓国師が手掛けたという庭をあげる人も多い。ただ、その庭は単に美しいだけではない。池に架けられた橋にも仏教的な意味合いが込められているという。「池の手前から観音堂の正面へ向かって橋

を試みと言えます。全国に折衷様式の建物はありますが、当時の素材でそのまま残している建物は珍しいと思います」。確かに、軒反りの屋根や装飾の入った棧唐戸といった中国様式の特徴に、床や天井が板張りという日本様式の特徴が相まっているのが見てとれる。また、観音堂に安置されているご本尊、聖観世音菩薩も県の重要文化財に指定されている。ただ、そこでひととき目を引くのが観音様を囲う岩窟式の厨子だ。この巖かな厨子が、観音様の存在を際立たせている。

厨子は、土岐川の流木を組み合わせて漆喰で固めたもので、その数は煩惱の数108つという言い伝えがある。修行により煩惱を取り除いていけば、清らかな心が現れるということを表している

池の周りに植えられたモミジ。存在感あふれる樹齢700年といわれるイチヨウの木。秋深し頃はいかばかりかと想像する。3月まで待てない方は、まず紅葉の季節に訪れてみてはいかがでしょうか。

を渡ることが、迷いの世界から悟りの世界へ到達するということ。つまり、橋自体を仏教にたとえているのです」。もちろん一般参拝者も渡ることができると、なぜこの位置に橋があるのか、なぜこの形なのか、なぜ仏様はこのような表情なのか、話を聞かなければ気付かないことが多いかもしれない。しかし、毎年3月15日の御開帳の日には、お坊さんからの説明を聞きながら各所を見て回ることができる。「建物をただ見るのではなく、建物を見て昔の人の偉大さに思いを馳せ心意気を学ぶことも大切です。建物はいつか壊れてしまいうすからね」。修行僧の方の言葉を噛みしめながら、もう一つの国宝、開山堂へ向かった。

次の時代を担っていく人材を 安定的に確保するためには。

経団連が発表した「採用選考に関する指針」により注目された就職活動。しかし、実際にふたを開けてみると、「長期化する就職活動」、「企業も学生も混乱」など、就職活動スケジュール変更に対する批判の声が多く出るばかり。ただ企業にとって大事なことは、次代を担う良質な人材を安定的に確保するにはどうすべきかを考えることではないでしょうか。そこで今回は、人材育成や人材確保に焦点をあてて、キャリア支援課にお話を伺いました。

ますます進んでいく少子化の時代、 企業と大学とのつながりが不可欠に!?

就職活動のスケジュール繰り下げによる影響で、昨年比べて内定獲得状況は遅れています。とはいっても昨年の同時期（9月末）と比べれば、9ポイントの遅れに留まっており、むしろ想定以上に内定を獲得しているといえます。それはやはり超売り手市場によって、企業の皆様が解禁日を待たずに採用活動を始めたことも一つの要因だと思えます。

いう企業があるように、経営者の方が率先して人材確保に乗り出すことで伝えられるメッセージもあると思います。そうした発信は学生も重く受け止めるはずで。

しかし、企業の皆様にはやはり学生生活を問うてほしいと願っています。そのためには、しっかりと学生生活を送る時間を与えていただくとともに、学生生活を通して考え方や人間力を磨いた学生を採用していただければと思っています。それが今回の就職活動時期の変更の主たる目的です。今年の就職活動状況を調査すれば、恐らく混乱や困っているという結果が出ることは間違いありません。しかしそういった感情的な話ではなく、もっと就職活動の本質に目を向けていただきたいと思えます。人材確保こそが一番重要な仕事であり、経営課題の一つだと

これから進行していく少子化の時代では、企業規模に関わらず、人材確保は重要な課題になってくることでしょう。企業の皆様からしてみれば、関係を築いておくべき大学はさまざまだと思えますが、中部大学では幸友会を通じて緊密な関係を築くことができます。今後は大手企業でさえ、人材確保のためにこのような大学と近い関係性を求める時代が来るかもしれません。かつての高度経済成長期やバブル期と同じではないにしても、先生に学生を推薦してもらおう関係を築いておくことは大切です。しかし今は自分の目と耳で確かめて選びたい学生が多いのも実状。すると、先生方との関係構築に加えて、学生にも広くアピールしていく取り組みが必要です。

■2014年度の就職結果報告

(2015年4月15日現在)

学科名	卒業生数 (人)	就職希望者数 (人)	求 人			就 職			幸友会会員企業就職		
			会社数(社)	人数(人)	求人倍率(倍)	会社数(社)	人数(人)	就職率(%)	会社数(社)	人数(人)	会員への就職率(%)
機 械 工 学 科	127(3)	120(3)	10,190	10,193	84.9	106	118(3)	98.3	49	53(3)	44.9
電気システム工学科	66(2)	55(1)	10,133	10,162	184.8	52	55(1)	100.0	21	24(0)	43.6
電子情報工学科	77(1)	67(1)	9,827	9,829	146.7	57	67(1)	100.0	22	27(0)	40.3
都市建設工学科	71(4)	66(3)	9,792	9,828	148.9	56	66(3)	100.0	19	26(1)	39.4
建 築 学 科	95(7)	84(6)	9,849	9,877	117.6	64	84(6)	100.0	16	22(1)	26.2
応 用 化 学 科	89(13)	73(11)	9,330	9,333	127.8	62	73(11)	100.0	18	18(4)	24.7
情 報 工 学 科	96(3)	71(3)	9,548	9,549	134.5	61	70(3)	98.6	23	28(1)	40.0
ロボット理工学科			2018年3月卒業予定								
経営情報学科	102(5)	92(4)	9,904	9,908	107.7	84	91(4)	98.9	14	16(0)	17.6
経 営 学 科	124(14)	114(13)	9,948	9,951	87.3	105	112(13)	98.2	14	14(3)	12.5
経営会計学科	44(12)	42(11)	9,829	9,832	234.1	41	42(11)	100.0	5	5(2)	11.9
国際関係学科	42(10)	38(10)	9,761	9,761	256.9	36	38(10)	100.0	4	4(2)	10.5
国際文化学科	42(23)	36(19)	9,752	9,755	271.0	35	35(18)	97.2	6	6(4)	17.1
中国語中国関係学科	20(13)	18(13)	9,679	9,679	537.7	17	18(13)	100.0	0	0(0)	0.0
日本語日本文化学科	67(28)	60(27)	9,700	9,703	161.7	53	59(26)	98.3	6	6(2)	10.2
英語英米文化学科	68(25)	54(21)	9,722	9,722	180.0	53	54(21)	100.0	5	6(3)	11.1
コミュニケーション学科	71(17)	66(16)	9,765	9,765	148.0	59	63(15)	95.5	7	7(1)	11.1
心 理 学 科	61(26)	48(20)	9,681	9,684	201.8	43	47(20)	97.9	6	6(1)	12.8
歴史地理学科	70(22)	62(19)	9,650	9,650	155.6	60	61(19)	98.4	6	6(1)	9.8
応用生物化学科	91(27)	71(20)	9,202	9,202	129.6	65	71(20)	100.0	8	9(2)	12.7
環境生物科学科	86(16)	77(15)	9,165	9,166	119.0	68	75(14)	97.4	7	7(1)	9.3
食品栄養科学科	96(51)	80(44)	9,102	9,103	113.8	71	78(42)	97.5	6	7(2)	9.0
生命医科学科	67(42)	47(32)	9,106	9,108	193.8	42	45(30)	95.7	3	3(2)	6.7
保健看護学科	109(98)	101(91)	9,128	9,167	90.8	50	101(91)	100.0	1	1(1)	1.0
理学療法学科	43(20)	42(19)	9,445	9,470	225.5	35	42(19)	100.0	1	2(1)	4.8
作業療法学科	26(15)	22(14)	9,429	9,452	429.6	22	22(14)	100.0	3	3(2)	13.6
臨床工学科	45(10)	42(10)	9,202	9,225	219.6	35	41(10)	97.6	0	0(0)	0.0
スポーツ保健医学科	53(3)	49(3)	9,054	9,059	184.9	39	49(3)	100.0	3	3(0)	6.1
幼児教育学科	75(55)	73(55)	9,975	9,991	136.9	70	73(55)	100.0	1	1(0)	1.4
児童教育学科	97(32)	85(31)	9,603	9,603	113.0	79	82(31)	96.5	3	3(1)	3.7
合 計	2,120(597)	1,855(535)	※ 13,105	278,727	150.3	※ 1,323	1,832(527)	98.8	※ 192	313(41)	17.1

※()内は女子で内数

※求人数は13,105社

※1,323社に1,832名が就職

※幸友会企業192社に313名が就職

人材確保にもつながる 早い段階からの職業観の養成。

キャリア支援課では、3年前から文系2年生を対象とした「キャリア形成支援プログラム」を実施しています。これは、学生に対して企業と仕事へのイメージを育てる職業教育ですが、その中で、地元企業のイベント「かすがいビジネスフォーラム」への参加を通じて、働く自分をイメージさせる機会を設けています。たとえばこのフォーラムのように、三浦幸平メモリアルホールに幸友会会員企業をお招きして、各ブースでパネルの掲示や製品の展示、サービスの紹介などを全学年の学生に向けて発信していただくような場はいかがでしょうか。企業にとつては自社のアピール、学生にとつては職業観の養成と業界研究。つまり、学生が企業を選ぶ目を養い、多彩な幸友会会員企業の存在を知り、ゆくゆくは就職先として選んでもらうような仕組みができればいいと思っています。

現状、学生たちがいざ就職活動を始める時、まずは知名度が高い企業へと集中してしまいがちです。そのまま決まる学生はよいですが、そうでない学生はそこから現実を目を向けていく。しかし現実的になる前に疲弊してしまう学生も

多々います。そうならないように、自分の職業の目指すべき方向を見つけ、真つ先に目標とする企業を受けられるようにする就職支援が我々にとつても課題です。会員企業の皆様の力を貸していただければ幸いです。また、それがインタビュシップにつながり、ひいてはそういったプログラムに参加してきた学生が、就職活動の際に会員企業を訪ねていくことが理想です。今後、キャリア形成支援のお手伝いをお願いすることもあるかもしれませんが、人材育成という社会的な視点と捉えていただき、何卒ご協力をよろしくお願いいたします。

採用担当者様へ

求人に関するご相談やお問い合わせは、キャリア支援課までお気軽にどうぞ。



中部大学キャリア支援課
(不言実行館5F)
TEL.0568-51-4184(直通)
FAX.0568-51-1982
E-mail:syusyoku@chubu.ac.jp

「幸友会企業ガイド」
掲載企業も募集中

中部大学幸友会事務局
TEL.0568-51-4740(直通)
http://www.chubu.ac.jp/koyunavi/
(幸友会就職ナビ)

大学の新たな節目を追い風に、
幸友会も共に歩み続ける。

中部大学 幸友会総会報告

平成27年4月22日(水)、名古屋東急ホテル・バロックの間にて、「第27期中部大学幸友会総会」が開催されました。
緩やかな回復が続く景気動向に加え、中部大学に新規施設の誕生や、体育会系クラブの目覚ましい活躍などの明るいニュースもあり、
登壇者・参加者からは前向きな発言が多く聞かれました。

※所属役職は総会当時のものです。

開学50周年を祝うさまざまな記念事業が終了し、新たなスタートを迎えた4月。約320名の会員参加の中、幸友会総会が開かれました。まずは松尾隆徳会長が、中部大学の知財を活用して中部経済を元気にしていきたいと力強く挨拶。続いて、飯吉厚

夫名誉会長からは学園の近況報告と不言実行館竣工に対するお礼が述べられました。さらに国際交流のニュースとして、学術交流協定を結んでいる同済大学内に中部大学上海事務所を開設することを報告し、日中の産学連携の拠点ができることをアピールしました。

その後、来賓としてご列席いただいた経済産業省中部経済産業局長の井内撰男氏、幸友会顧問で春日井市長の伊藤太氏からご祝辞を賜りました。来賓の紹介後は、今年度の会則改正に従い、松尾会長が議長を務め、議

事を進行。第26期の事業報告と収支報告、第27期の事業計画案と収支予算案がともに審議さ

れました。
総会終了後は、エコノミストであり、株式会社日本総合研究所理事長の高橋進氏による講演会を開催。「第三次安倍政権の課題」の演題のもと、経済の4つの好循環を拡大・推進することで成長を持続させ、その好循環をより強く広範なものとするべきと述べ、日本再興戦略の概要や地方行政サービス改革の方向性などにも触れ、日本には、民間委託の余地がまだ多くあると示唆しました。
最後は、ルネッサンスの間に会場を移して懇親会がスタート。終始和やかな雰囲気の中で、大学と会員企業が親睦を深め合い、盛況のうち幕を閉じました。



挨拶に登壇した松尾会長。



プログラム

■総会(午後4時00分～)

開会

会長あいさつ

名誉会長・理事長あいさつ

議事:

第1号議案 第26期事業報告

第2号議案 第26期収支報告

第3号議案 第27期事業計画(案)

第4号議案 第27期収支予算(案)

■講演会(午後4時50分～)

[演題]

第三次安倍政権の課題

[講師]

エコノミスト、(株)日本総合研究所理事長

高橋 進氏

■懇親会(午後6時20分～)

中部大学幸友会 新役員

常任理事

川北電気工業株式会社 代表取締役社長 大津 正己(敬称略)

第27期 中部大学幸友会事業計画

1. 総会・役員会の開催
2. 学術文化興隆のための事業として講演会、研修講座の開催と中部大学公開講座の後援及び中部大学キャンパスコンサートへの協力
3. 学園が行う地域交流を支援、促進するための事業
4. 2016企業ガイド・幸友会就職ナビの作成及び中部大学学内企業説明会協賛
5. 会員相互の親睦と啓発のための事業
6. 産学官連携協力事業
7. 幸友会会報「幸友」の発刊
8. 中部大学主催講演会・講座・研究発表会等の案内及び中部大学定期刊行物等の配布
9. 学園が行う“人間力を高める教育”を支援するための事業
10. その他(本会の趣旨に即する事業・功績への協力)

第26期 中部大学幸友会事業報告(一部抜粋)

平成26年		10月	
4月		9日	第83回常任理事会開催(名古屋東急ホテル)
	9日	25日	中部大学開学50周年記念連続講演会 参加(ウインクあいち)
	23日	27～31日	学内企業説明会(平成27年3月卒業予定者対象) 協賛(中部大学)
		31日	中部大学幸友会会報「幸友」Vol.17 会員に配布
5月		11月	
	16日	26日	第23回企業経営講演会 開催(中部大学名古屋キャンパス)
	19～23日	27日	キャリア教育科目・社会人基礎知識 講座 「先輩からのメッセージ③」(中部大学)
	26～27日	30日	中部大学開学50周年記念2014 第11回中部大学音楽祭 後援(春日井市民会館)
6月		12月	
	3日	10日	中部大学産業経済研究所講演会 参加(中部大学)
	24日	18日	キャリア教育科目・社会人基礎知識 講座 「先輩からのメッセージ④」(中部大学)
	28日	平成27年	
		2月	
		25日	平成26年度中部大学総合工学研究所研究発表会 参加(中部大学)
7月		3月	
	15日	1日	2015企業ガイド発刊・就職ナビの開設
		1日	中部大学開学50周年記念コンサート 後援(愛知県芸術劇場)
	14～15日	5～6日	学内企業説明会(平成28年3月卒業予定者対象) 協賛(中部大学)
	17～18日	10～13日	
	16日	16～18日	
	19日	11日	平成26年度中部大学産業経済研究所研究発表会 参加(中部大学)
	26日	(3月)	第26期事業 「学園が行う“人間力を高める教育”を支援するための事業」 不言実行館～ACTIVE PLAZA～へ「幸友Library」を寄贈
9月			
	13日		
	16日		
	18日		

第27期
総会講演ダイジェスト

日時:2015年4月22日(水)16時50分～
会場:名古屋東急ホテル 3階

第三次 安倍政権の課題

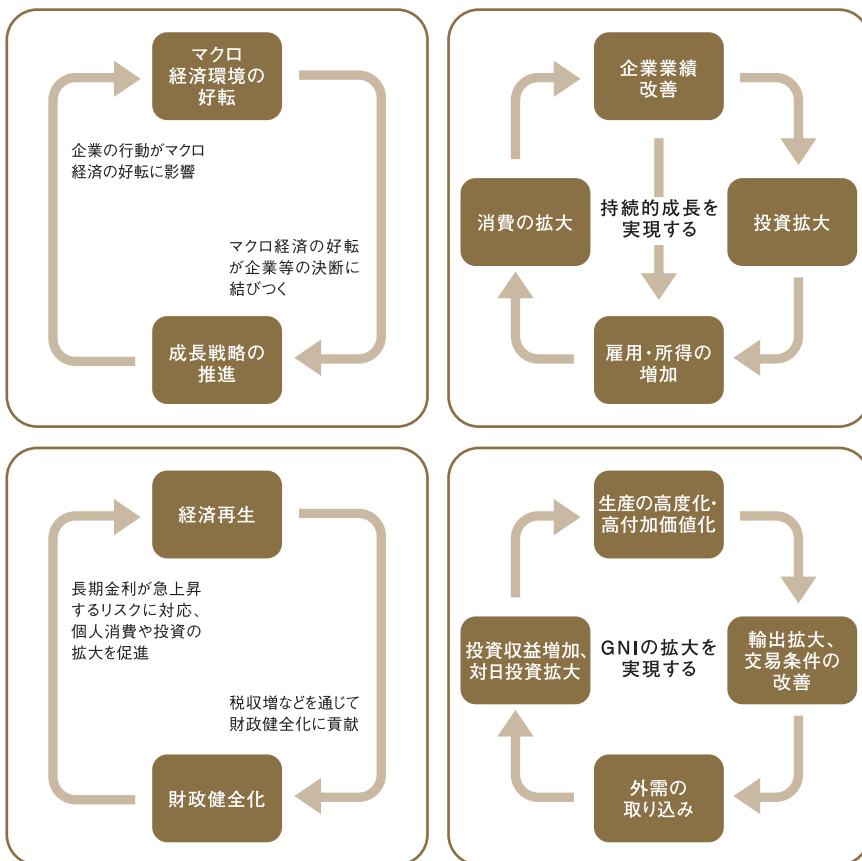
講師 エコノミスト
(株)日本総合研究所理事長

高橋 進 氏
たかし すずむ

経済の4つの 好循環維持と 成長戦略に関する課題

安倍政権は「大胆な金融政策」「機動的な財政政策」「民間投資を喚起する成長戦略」からなる、日本経済の課題を克服する経済政策アベノミクス「3本の矢」から始まりました。政権発足3年目の今年は、本当に正念場といえる大事な年。デフレ脱却・経済再生と財政健全化の2つの目標を両立させるため、「マクロ経済環境の好転と成長戦略の推進」「企業業績改善を出发点にした経済の持続的成長」「経済再生と財政健全化」「外需取り込みによるGNI(国民総所得)拡大」の4つの好循環の拡大・推進に取り組んでいるところです。具体的には6つの重点課題「持続的な賃金・所得の増加」「設備投資と個人消費の喚起」「稼働力の強化や対日投資の拡大」「経済再生と財政健全化の実現」「アベノミクス成果の全国浸透と地方創生」「全世代型社会保障と経済再生の両立」の強力な取り組みに加え、好循環の障害となる構造を取り除くと同時に、循環

■4つの好循環の拡大・推進



メカニズムを補強する施策の実行が必要で、改善の兆しが見えてきた課題がある一方、財政赤字拡大の要因でもある社会保障の改革、景気の地方波及の遅れに伴う大都市圏と地方圏での景気格差是正、低所得者・子育て世代・年金受給額の低い高齢者などの生活や先行き不安の解消といった課題も依然として残っています。

成長戦略の3本柱と 日本経済成長の活路

昨年、政権発足時に打ち出した成長戦略の改訂を行いました。戦略メニューを絞るとともに、大きな3本柱にまとめ直しています。1本目の柱には、コーポレートガバナンスの強化と将

資料: 経済財政諮問会議2015年3月11日民間議員提出資料

来に向けた手元資金の積極的投資、産業の新陳代謝やイノベーション推進による「日本の『稼ぐ力』の取り戻し」を。2本目の柱には、女性の就業への障壁を取り除き、男性を含めた働き方の変更と正規社員になりたい意欲のある非正規社員・高齢者・外国人労働者の戦力化についても考慮した、「担い手を生み出す」女性の活躍促進と働き方改革」。3本目の柱には、「新たな成長エンジンと地域の支え手となる産業の育成」を据え、昨年からいくつかの分野を育成しようとする名指しで動いています。主なところでは、農協改革による高品質で味の良い農産物の輸出倍増を農林水産分野で始めました。また今後、日本の医療・介護コストが上がっていくことで、健康産業の活性化と質の高いヘルスケアサービスの提供が望まれます。20年後にはアジア諸国も急速な高齢化に突入することを考えると、今のうちに高齢化社会の中で医療・介護・サービスを輸出産業に育てることができれば、経済効果の全国波及もしくは地方圏の経済活性化の有効な手段となるはずで

す。さらに、2015年の成長戦略改訂では観光分野に焦点をあてています。

昨年外国人観光客は年間1400万人を超え、前年比30%増となっています。政府は2020年までに、年間2000万人の外国人観光客を日本へ呼び込みたいとしています。この調子でいけば2020年を待たずに目標達成も夢ではありません。もって知恵を絞れば日本の稼ぐ力の一つとして、いくらでも成長する可能性があると考えています。"おもてなし"に象徴される日本の素晴らしさを伝える観光は地域活性化の大きな要素です。しかしながら、依然として東京をはじめとする都市部への人・物・金の一極集中が大きな課題として残っており、その中でも人の流出を防ぐ手立てが地方圏でまだできていないのが現状です。

財政健全化は アベノミクスの もう一つの柱

政府は2020年度に、社会保障や公共事業などに必要な政策経費を新たな借金に頼らず税収でどのくらい賄っているかを示す「基礎的財政収支」の黒字化を目標にしていますが、

9兆円強の穴が空いています。穴埋めが安倍政権にとつて今年最大の課題と言っても過言ではありません。社会保障支出に手を付けられない限り、財政赤字の縮小は容易ではないため、社会保障改革は必須です。だからといって、高齢化社会へと進んでいく日本では社会保障支出が簡単に減るわけはないように、社会保障給付費の見通し予測によると、団塊の世代が後期高齢者となる2025年度あたりから医療・介護費用が大きく増加するとされています。全てを保険でカバーした場合、消費税や保険料、医療・介護費用の自己負担額を引き上げざるをえません。日本は医療・介護保険があまりにも整い過ぎているため、医療・介護であれば何でも保険でカバーしようとはしますが、ある一定金額以上は保険外でカバーするなどの見直しや、公的医療・介護保険の給付対象サービスをあまり増やさないことも一つの手段です。その分、医療サービスを増やして民間事業者の力でカバーすれば、医療産業そのものを大きくすると同時に医療・介護制度の立て直しにもつながるのではないのでしょうか。その他の公的事業分野においても民

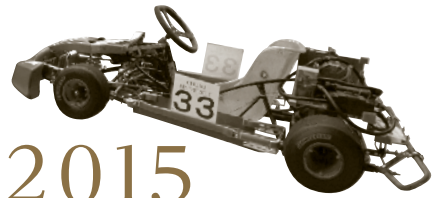
間の知恵や活力を借りながら立て直しを図ってみてはどうでしょうか。国や地方にある莫大な公的資産をうまく民間に開放していくことで、民間ビジネスに相当数つながるため、経済活性化と財政健全化がうまく両立して改善できることが考えられます。現状の政府事業を見直し、官民連携による財政健全化に向けたビジョンの設計がこれからの日本の鍵になってくると思います。



Profile

高橋 進

1953年生まれ、東京都出身。一橋大学経済学部卒業。住友銀行(現:三井住友銀行)に入行。ロンドン駐在などをを経て、1990年に(株)日本総合研究所調査部主任研究員の職に着任。2005年より、民間からは3人目の登用となる内閣府政策統括官(経済財政分析担当)に就任。その間、日本の政策に関わるさまざまな委員会を担当し、2013年1月から安倍内閣経済財政諮問会議議員として国政運営に携わる。定期的に執筆活動も行うほか、テレビ東京系「ワールドビジネスサテライト」をはじめとするテレビ番組にも活躍の場を広げ、これからの日本経済の動向を鋭く解説している。



中部大学フェア 2015

—人づくり・モノづくり・コトづくり・夢づくり—

「地域からあてにされる大学」を目指し、「知のプラットフォーム」としての役割を担う中部大学の研究や、
将来を見越したシーズを発掘するための研究を紹介する中部大学フェア。

第11回目の今回は、2015年9月17(木)にアクティブホールでの特別講演からスタート。

その後は、体育館へ場所を移し、研究シーズ発表やミニ講演会、施設見学会を開催。

また、中部大学と企業、自治体、地域団体の皆様、学生が、知的財産の交流を図りました。



特別講演

会場：アクティブホール(不言実行館1階)

演題

日本の基幹ロケットの現状と未来 ～飛翔！日本のロケット～宇宙へ物を運びます！

〈講師〉三菱重工業株式会社 執行役員フェロー 防衛・宇宙ドメイン 技師長
H・II A / H・II B ロケット 打上執行責任者

にむら
こうき
二村 幸基氏



PROFILE

1982年3月、名古屋大学大学院電子工学専攻課程修了後、同年4月、三菱重工業株式会社入社。2000年、名古屋航空宇宙システム製作所宇宙機器技術部電子装備設計課長、2003年、同主席プロジェクト統括としてH-IIAプロジェクトマネージャ就任。2004年、同宇宙機器技術部次長、2008年、同部長。その後2011年4月に航空宇宙事業本部宇宙事業部主幹、7月に同副事業部長を務めたのち、2014年4月、防衛・宇宙ドメイン 宇宙事業部 技監・技師長となり、2015年4月より現職。

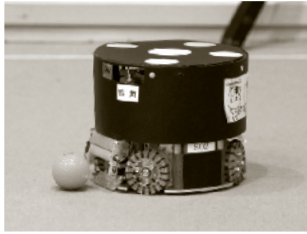
を下し、なおかつその打ち上げ結果の責任を負うポジションです。我が国のロケット開発・打ち上げの中核を担う立場からロケットの仕事や開発の歴史、世界のロケット事情、現在の宇宙利用やこれからの宇宙開発についてなど、ロケットと宇宙についてお話いただきました。

決められたスピードを与えて軌道に乗せること」だと二村氏はおっしゃいます。そのために必要な燃料はロケットの重量の約9割をも占め、残りは電子機器類や燃料を詰める容器だといえます。極端に言えば、燃料を積んだタンクにエンジンを付けて飛ばしているのがロケットなのです。

さる8月19日、鹿児島県の種子島宇宙センターより打ち上げられたH-II Bロケット5号機に打上執行責任者として携わられた二村氏。打上執行責任者とは、機体や衛星の状態、打ち上げ設備、天候等を総合的に判断してロケット打ち上げの最終判断

二村氏いわく、ロケットとは「地球から宇宙にモノを運ぶロボット」。今回打ち上げられた宇宙ステーション補給機「こうのとり」も国際宇宙ステーションに物資を運ぶことが目的でした。「ロケットの仕事は衛星を宇宙空間の所定の場所まで運び、ある

そんな日本のロケット開発は1955年、小惑星「イトカワ」で知られる糸川英夫博士がペンシルロケットの水平発射に成功したことから始まります。1975年には日本初人工衛星打ち上げ用液体燃料ロケットN-Iが、1994年には国産ロケット第1号のH-IIが打ち上げられ、その後2001年のH-IIAを経て2009年にH-II Bが開発されました。そして今年、「こうのとり」5号機を搭載してH-II Bロケット5号機が打ち上げられたのです。



施設見学会

食品プラント

乳製品、ハム、ソーセージなどの肉製品や、パン・麺類などの生産・加工を実際に行うことができる全国に類を見ない本格的な食品製造実習プラントの設備や機械装置など、応用生物学部食品栄養学科の学生たちによる説明を聞きながら見学しました。



食品プラント1階のハム製造機械について説明する学生



食品プラント2階の乳・乳製品プラント



見学者からの質問に答える学生

二村氏によると、物資輸送船を搭載したアメリカやロシアのロケットが打ち上げに失敗したことで、JAXA 経由で、急遽NASAから追加で物資を搭載してほしいという要請に応えたのが今回の「こうのとりのとり」だといえます。近年、日本では打ち上げの失敗はありませんが、海外ではこうした失敗があるのだそう。これについて二村氏は「ロケットはちょっととした油断で事故につながる。それゆえに人手をかけ、たくさんの方の目を留意し、試験を行い、データをとり、くもりのない気持ちで打ち上げに臨まないといけない。他国の失敗例をあざけるのではなく、同じことが起きないよ

うに調査をし尽くして打ち上げているのが今の日本のロケットです」と述べられました。

一方、新たな日本のロケットとして開発しているのが、2020年度に初号機打ち上げを目指しているH3です。アメリカ、インド、中国、ロシア、EUもそれぞれ新たなロケットを開発中で、各国とも2020年頃までには新機種が出揃うとされており、日本のライバルだとおっしゃいます。また技術面だけではなく、価格面でもすでに競争が始まっており、「我々はこの中で一定のシェアを勝ち取るうとがんばっている」と二村氏。さらに最近、新型ロケット開発同様、各国がしのぎを

削っているのが火星などの宇宙探査。これは太陽系や惑星の成り立ちなどの調査を行うもので、二村氏によると「アメリカ、インド、中国、EUなどが現在、火星に探査機を送り調査を行っており、日本は少し遅れている」と現状への危機感を示されました。

打ち上げまでの膨大な工程を多くのパートナー企業とともに歩んできたロケット開発プロジェクト。だからこそ二村氏は「打ち上げに対する責任以外に、こういった人々の“想い”も一緒に背負って打ち上げなければならぬ」とおっしゃいます。「ロケットに未来をのせて」。技術者たちの挑戦は続きます。

ミニ講演会

会場：体育館

演題 1

中部大学キャンパス
スマートグリッドの導入と
エネルギー教育の構築

中部大学管財部

清水建設株式会社

今なぜ中部大学が
スマートグリッドに
取り組むのか

中部大学管財部 担当部長
吉崎 真琴

複数施設の電力使用を適切に制御するスマートグリッドの構築とともに、ムダのない節電活動の活性化を目的に、2012年から清水建設株式会社と中部大学で3年間の共同実証として始まったキャンパススマートグリッド。取り組みの背景には、学部・学科増設による消費電力の増大に伴う、契約電力超過と電力インフラ容量の限界があったことを説明し、「教育に必要な電源の確保と経費削減に繋げていきたい」と講演を締め括りました。



スマートグリッド
システムの構築について

技術戦略室 主査
岡澤 岳氏

キャンパス版スマートグリッドシステムの概要と機能を説明し、導入効果と利用者協力型デマンドレスポンスによる節電効果を紹介した。

工学部

中部大学の
エコキャンパス活動と
エネルギー教育の紹介

機械工学科 教授
行本 正雄

春日井市と地球温暖化防止計画推進事業（環境省GPP事業採択）を推進する中部大学が、省エネルギー活動を地域へと広げるために取り組んでいる教育活動などを紹介した。

演題 2

呼吸成分分析と
健康管理・医療への応用

生命健康科学部

応用生物学部

呼吸成分を
測ることによってわかる
体の動き

生命健康科学部 学部長
近藤 孝晴

吐き出す息に含まれるガスには、大きく分けると2つのタイプがあります。「体内の細菌によって作り出されるガス」と「体内の代謝によって作り出されるガス」です。講演では、呼吸成分の臨床的意義と既に実用化されている呼吸検査について説明。呼吸成分の分析・測定によって明らかとなる体内の変化を、病気の診断や予防、病態把握に役立てようとする研究や簡易な測定機器の開発が盛んに行われていることを紹介されました。



呼吸を用いる治療薬物
モニタリングの可能性

食品栄養科学科 教授
山本 敦

血液による治療薬物モニタリング（TDM）は、医療スタッフと患者双方にとって大きな負担となるが、血液の代用として呼吸によるTDMの研究を紹介した。

応用生物学部

如何にして
呼吸中の薬物を
捕捉するのか？

特任研究員
井上 嘉則

呼吸中に排出される薬物は微小な水滴（ミスト）中に存在する。極微量の非揮発性薬物をミストから効率良く捕集するのに好適な吸着剤の開発について紹介した。

TOPICS 1

世界初、500メートルの超伝導送電に成功。

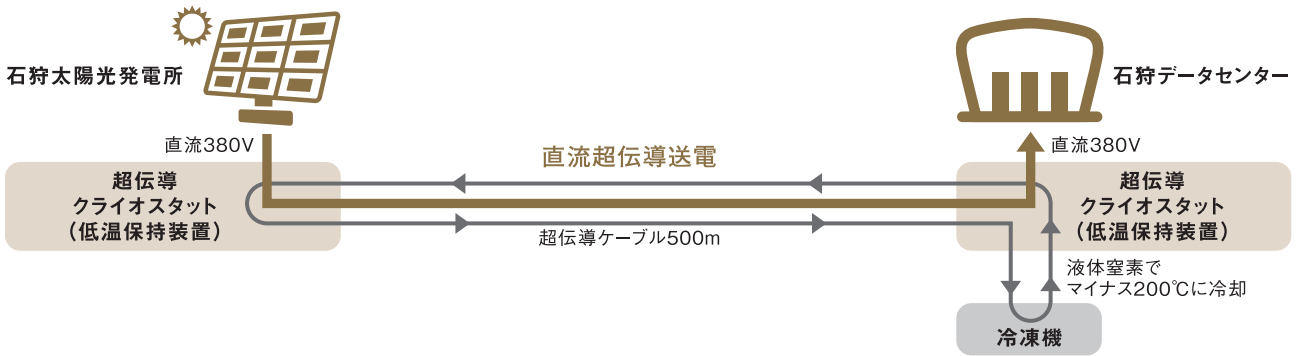
中部大学内にある超伝導・持続可能エネルギー研究センター

革新的な再生可能エネルギーの普及を目指して。

中部大学は、北海道石狩市で超伝導直流送電の実証実験（経済産業省委託事業）をしてきましたが、これまで200mだった送電距離を500mに延ばすことに成功しました。現在使われている送電線では、送電時に5～8%の送電ロスがありますが、超伝導送電は送電ロスを低減し送電効率が向上するため、電力供給の低コスト化に寄与。将来の実用化が期待されています。



■太陽光発電所からデータセンターへの超伝導送電



TOPICS 2

同濟日本センターをベースに技術と人材の交流をサポートします。

今年3月にオープンした同濟日本センターは、中国上海にある国家重点大学で、中部大学の協定校でもある同濟大学に置かれた日中間の企業の仲介支援組織です。日中間の中堅、中小企業のコーディネートを主な事業とし、日本企業の中国展開を支援。さらに、留学生の受け入れや派遣を通じて、人材育成事業の推進にも取り組み、両国間の地域の経済発展とWIN-WIN関係の構築を目指します。



中国進出のための
情報提供や各種サービスの提供

中国の最適な
パートナー企業、機関を紹介

中国の政府・企業との強いつながりや
広範なネットワークを保有する
同濟大学



日本の産業の中心地区である
愛知県に位置する
中部大学

メンバーズサロン

Member's Saloon



会員の皆様より寄せられた
原稿をご紹介します「メンバーズサロン」。
今号も、まちづくりにかける思い、
仕事から学んだ大切なこと、
そして、業界や仕事への思いなど、
それぞれの視点から綴られた3編をお届けします。

投稿募集

メンバーズサロンでは、会員の皆様からの原稿を募集しています。テーマは自由です。日頃思っていることや趣味のこと、昔の思い出話や体験談、エッセイや人生訓など、短文でも構いません。文字数は600字程度で、タイトルをつけてお寄せください。また、本文に関するお写真等がございましたら、一緒に幸友会事務局までお送りください。ご応募をお待ちしております。

リニアのまちづくり

中津川市長 青山節児 あおやま せつじ

12年後の2027年、東京―名古屋間をリニア中央新幹線が開通し、中津川市はリニアのホームタウンとしてスタートします。リニア岐阜県駅ができる中津川市から品川までは50数分、名古屋まではわずか10分と交通の利便性が飛躍的に高まります。このことは、利用者の行動範囲を大きく広げるだけでなく、空港的な役割を持つリニア駅により、中津川市が新たな交通の結節点となることを意味します。併せて整備工場を有する車両基地の併設により、世界の最先端技術を支える技術者が働くまちにもなります。

「リニアのまちづくり」を成功させるには、地元を愛し、地元で活躍する人を育てなければなりません。そのためには、若者の声や外からの視点によるアドバイスが必要不可欠です。市は、域学連携を推進しており、たくさんの方々の大学が市に滞在し、様々な分野で勉強や研究を行なうとともに、地元の方々とも交流を盛んに行なっています。今後はこうした取り組みを更に進め、大学や企業などの研究施設も誘致したいと考えております。中部大学の皆様にも中津川市をキャンパスとして是非とも活躍していただけたらと思います。

中津川市は、恵那山や付知峡、馬籠宿など自然や歴史・文化を身近に感じることができるまちで、これらの魅力を生かしたまちづくりに積極的に取り組んでいます。更に、リニアを活用することで、子どもからお年寄りまで多くの選択肢の中から個々のライフスタイルを見つけ出すことのできる「住んでよかつ

仕事を心の成長の糧に

株式会社産通
代表取締役社長 渡邊 正道

何の知識もないままに、広告の世界に飛び込んで早や37年。時代の変化は広告の手法だけではなく、職業人の意識も大きく変わってきたように思います。

弊社も今からでは考えられないのですが、多くの企業がそうであったように、売上第二主義・封建的社会でした。新米の売上の立てようのない私は「おはようございます」「失礼いたします」以外の言葉を発することは許されず、自分の存在価値とは何かを考えざるを得ない日々がありました。

そんな私に、上司から大切なお客様を担当を命じられました。引き継ぎ等があるわけでもなく、これまた何の専門知識もない業界にひとり飛び込んで行くことになりました。当然のこと、お客様から上司から、毎日叱咤の

連続で休みなしで仕事を続け、ようやくお客様と議論し、感激を分かち合えるようになりました。様々な試練をそのお客様と一緒に乗り越え、今もお付き合いいただいております。

弊社は昭和28年創業の広告代理店です。紙からネットへと媒体は拡大を続けていますが、私はどのような時代になっても、広告代理店として変わってほならないものがあると考えています。それは、お客様への貢献です。私はお客様への貢献度に自己成長感を投影しながら仕事をさせていただいた幸せ者です。仕事が私の心の成長を促し、今日があると思っています。今後は私の学んだ大切なものを次代へ確実に継承し、より一層の精進に邁進したいと思っております。

夢のある職業へ

清水建設株式会社
名古屋支店一宮営業所 所長 上田 隆章

早いもので会社に入り30年余、最初の仕事は建設現場の監督さん。新入社員といえども、職人さんに指示を出さなければなりません。父親と同じくらいの人、ちよつと怖そ

かし、実家に戻った時、そのビニールシートを剥がし乗り込んできたのは母であった。

うなお兄さん、彼らの仕事が順調にできる段取をすることが業務でした。時にはうまくいかず、怒られたり、追い掛け回されることもしばしば。当時の建設業のイメージは3Kと呼ばれ「きけん・きたない・きつい」であった。そんな中でも希望はあった。早く一人前になるぞとか、そんな立派なものではなく、自分の稼いだ金で車を買いたかった。二年後その夢はかない、赤いスポーツタイプの車を手に入れることができた。そしてその助手席には、彼女を乗せようとビニールシートを外さずにいた。し

携わる就労者が減少して、バブル期450万人だったのが、今では350万人を切る状況にいたっている。私が入社したころには、確かにきついが魅力ある仕事というイメージが、だんだん薄れてきているのは事実かもしれない。建設業の厳しさともみられる要素のうち体面や安全面は大いに改善されており、昔の3Kを払拭し、新3K「希望・休暇・給料」夢とやり甲斐のある誇りの持てる職業であることを、若者、女性にわかってもらい、意欲を持って建設業の門をたたいてもらいたい。

Event Information

イベントのご案内

● 学内企業説明会

日時 2016年3月7日(月)、8日(火)、10日(木)、11日(金)、14日(月)～18日(金)
会場 三浦幸平メモリアルホール



各企業の皆様には、毎年多くのご参加および求人をお寄せいただき、誠にありがとうございます。来年度に卒業予定の現3年生を対象とした「学内企業説明会」を今年度も開催いたします。

■お問い合わせ
 中部大学 キャリア支援課 TEL.0568-51-4184

● 2015第12回中部大学音楽祭

日時 2015年11月29日(日)PM2:00開演(PM1:30開場)
会場 春日井市民会館
入場料 無料(入場をご希望の方は、社会連携推進部までお問い合わせください。)

企画・運営から演奏までのすべてを学生たち自らが作り上げる中部大学音楽祭。今回は、第78回キャンパスコンサートにご出演いただいた、サクソフォン奏者の堀江裕介さんとピアノ奏者の中根浩晶さんが賛助出演します。ご期待ください。



第11回中部大学音楽祭の様子

■お問い合わせ
 中部大学 社会連携推進部 TEL.0568-51-5250

● 第79回中部大学 キャンパスコンサート

フランス パリ在住のピアニスト
宮田 理生 ピアノリサイタル

日時 2016年2月27日(土)PM2:00開演(PM1:30開場)
会場 三浦幸平メモリアルホール
入場料 無料(入場整理券が必要です。社会連携推進部までお問い合わせください。)

[プログラム]

- シューマン
ウィーンの謝肉祭の道化
作品26
- ドビュッシー
映像 第2集
- ラヴェル
ラ ヴァルス 他

※プログラムは変更になる場合があります。



■お問い合わせ
 中部大学 社会連携推進部 TEL.0568-51-5250

● 中部大学大学院 国際人間学研究所シンポジウム

テーマ
「下街道—宿場と文化の歴史を訪ねて—」

日時 2015年12月12日(土)PM1:30～PM4:30
会場 中部大学不言実行館1階アクティブホール
入場料 無料(事前申し込み不要)

司会 篠宮 雄二(中部大学国際人間学研究所教授・日本近世史)
パネリスト 櫻井 芳昭(春日井市文化財保護審議会会長)
 (報告順) 小木曾 郁夫(多治見市文化財審議会会長)
 後藤 清(高山城高山宿史跡保存会参事)
コーディネーター 林 上(中部大学国際人間学研究所教授・人文地理学)

名古屋・春日井と岐阜県東濃方面を結ぶ国道19号のルーツともいべき「下街道」の歴史は古く、街道沿いには多くの町があり、それらの町ではさまざまな産業、文化が育まれてきました。今回は下街道沿いの主な宿場とそこで練り広げられてきた文化に注目し、多方面から話し合いたいと思います。地域の歴史や文化に関心がある皆様の参加をお待ちしています。

■お問い合わせ
 中部大学 国際関係学部事務室 TEL.0568-51-4079

施設利用のご案内

～中部大学の施設をぜひご利用ください～

新穂高山荘 奥飛騨の温泉で研修旅行はいかがですか。

中部大学新穂高山荘は、新穂高温泉郷のほぼ中央に位置し、東方に北アルプスを望む絶好のロケーション。溪流にそった16,000㎡の敷地に山荘本館・別館、浴室棟、研修棟等が点在し、大浴場や露天風呂も備えています。研修はもちろん、心身のリフレッシュにもおすすめです。

施設概要	山荘本館	フロント／ラウンジ／食堂／自動販売機／ 客室(定員5人×2部屋、定員4人×8部屋)
	山荘別館	客室(定員7人×3部屋)
	不言山荘	客室(定員5人)
	浴室棟	大浴場(男女)／露天風呂(男女)／脱衣場／スキー乾燥室
	研修棟	セミナールーム

※不言山荘と研修棟は11月から4月まで利用できません。



アクセス

〒506-1421 岐阜県高山市奥飛騨温泉郷神坂577-68

〈名古屋方面から〉

- 中央自動車道中津川インターチェンジから国道257号線で高山へ。高山から国道158号線を平湯経由で新穂高へ。所要時間は名古屋から約5時間。
- 東名自動車道小牧インターチェンジから国道41号線で高山へ。高山から国道158号線を平湯経由で新穂高へ。
- 東海北陸自動車道飛騨清見インターチェンジから中部縦貫道高山西インターチェンジへ。高山から国道158号線を平湯経由で新穂高へ。

研修ご利用事例

株式会社コメントカトウ様

新穂高山荘の素晴らしい環境の中で研修ができることを大変うれしく思っております。あらためて感謝申し上げます。



東京事務所 東京駅から徒歩圏内、首都圏の会議に便利です。



インターネット環境や会議・応接室、休憩スペースなどが完備された、中部大学の「東京事務所」。首都圏で打合せや会議、研修集会、情報交換会等をおこなう際にぜひご利用ください。

会議室



ラウンジ



利用日当日は、身分証明書(運転免許証等)をお持ちください。

開所時間

午前9時～午後5時30分(土・日・祝祭日・夏季休業日・冬季休業日・学園の記念日を除く)

会議室・応接室の予約について

会議室・応接室は無料でご利用いただけます。空室状況などについてのお問い合わせは、幸友会事務局までご連絡ください。

アクセス

〒103-0027 東京都中央区日本橋2-16-13
ランディック日本橋ビル10階

- 東海道新幹線「東京」駅「日本橋口」から徒歩10分
- 東京メトロ銀座線・東西線「日本橋」駅「C4」出口から徒歩4分
- 都営浅草線「日本橋」駅「D1」出口から徒歩1分

お問い合わせ・お申し込み先

TEL.0568-51-4740 (幸友会事務局)

空室や料金などについてのお問い合わせは幸友会事務局までご連絡ください。



9号館1階から見た第1学生ホール横の並木道。人文学部棟までの歩道に緑のトンネルを形成し、木漏れ日が心地よい空間をつくり出しています。

幸友会に関するお問い合わせ一覧

(会員数) 法人会員745 個人会員443人
(平成27年10月15日現在)

○ご入会手続き	▶ 幸友会事務局	0568-51-4740(直通)
○求人に関するご相談	▶ キャリア支援課	0568-51-4184(直通)
○共同研究に関するご相談	▶ 研究支援課	0568-51-4852(直通)
○オープンカレッジ・公開講座	▶ エクステンションセンター	0568-51-4392(直通)
○大学院・大学入試情報	▶ 入学センター	☎ 0120-873941
○中部大学音楽祭・キャンパスコンサート	▶ 社会連携推進部 渉外課	0568-51-5250(直通)

本誌に関するご感想や、幸友会に対するご意見やご希望、ご質問などは、下記のE-mailへお気軽にお寄せください。なおバックナンバーをご希望の方はお問い合わせください。

発行 平成27年10月31日

編集 中部大学幸友会

住所 〒487-8501 愛知県春日井市松本町1200番地 中部大学社会連携推進部内
TEL.(0568)51-4740〔直通〕 FAX.(0568)51-1186
ホームページ <http://www.chubu.ac.jp/> (「企業の皆様」・「地域の皆様」をクリックしてください)
E-mail kouyukai@office.chubu.ac.jp

本誌「幸友」は、学園創立者である三浦幸平先生の名前にちなんで命名された中部大学幸友会の会報誌です。学術・文化交流を促進する“交友”の意味も込められています。